スキャントロニクスシリーズ セットアップガイド

SATO

目 次

1. はじめに ____ P1

2. セットアップ手順

付属品の確認を行ってください ____ P1
プリンタドライバをインストールまでの作業手順 ____ P2
プリンタ本体の準備を行ってください ____ P3
パラレルインタフェース接続 ____ P4
シリアルインタフェース接続 ____ P5
LAN インタフェース接続 ____ P7
無線 LAN インタフェース接続 ____ P8
USB インタフェース接続 ____ P9

3. ネットワークユーティリティ

はじめに ____ P10
プリンタ本体を確認してください ____ P10
ネットワークユーティリティを起動します ____ P10
プリンタに IP アドレスを設定します ____ P11
その他の設定 ____ P14
プリンタから IP アドレス等の設定情報を印字させるには ____ P17

4. プリンタドライバのインストール方法

プリンタドライバのインストール方法 ____ P18
シリアルポート インストール ____ P22
LAN ポート インストール ____ P23
USB ポート インストール ____ P25
Windows2000/XP LPT ポートインストール ____ P27

5. ラベル発行までの流れ(Windows95/98/Me) ____ P31
6. ラベル発行までの流れ(WindowsNT4.0) ____ P37
7. ラベル発行までの流れ(Windows2000/XP) ____ P43
8. プリンタドライバのアンインストール方法 ____ P49
9. ファイル保存方法 ____ P51
10. ファイル読込み方法 ____ P54
11. プリンタドライバ共有機能 ____ P57
12. Q&A ____ P59
13. アクセサリ CD-ROM ____ P60
14. ご注意 ____ P63

プリンタの設置／据置き作業が行われた後、セットアップ作業を行ってください。本セットアップガイドは、プリンタを使用可能な状態にするまでの作業手順が記載されています。

第 4 版　2003 年 1 月 14 日

1．はじめに

本書は、バーコードラベルプリンタを、プリンタドライバソフトを使用して動作させるまでの説明書です。

「Windows95/98/Me」「WindowsNT4.0」「Windows2000」「WindowsXP」でプリンタを使う場合に、必要な設定方法を中心に説明しています。

本書で説明しているプリンタドライバ画面は、特に断りがない限り MR400e シリーズのものを使用しています。そのため、実際にご使用になるプリンタ機種によっては、画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。

プリンタドライバとは、こんなソフトです。

① コンピュータで作成したデータ（文書や絵）を…
② プリンタに送り出し…
③ ラベルに印刷する作業を行います。

2．セットアップ手順

付属品の確認を行ってください。

プリンタを箱からだしましょう。箱を開けたら、添付品を確認してください。
添付品についての詳しい説明は、「取扱説明書」をご確認ください。
取扱説明書の手順にしたがって、プリンタを設置してください。

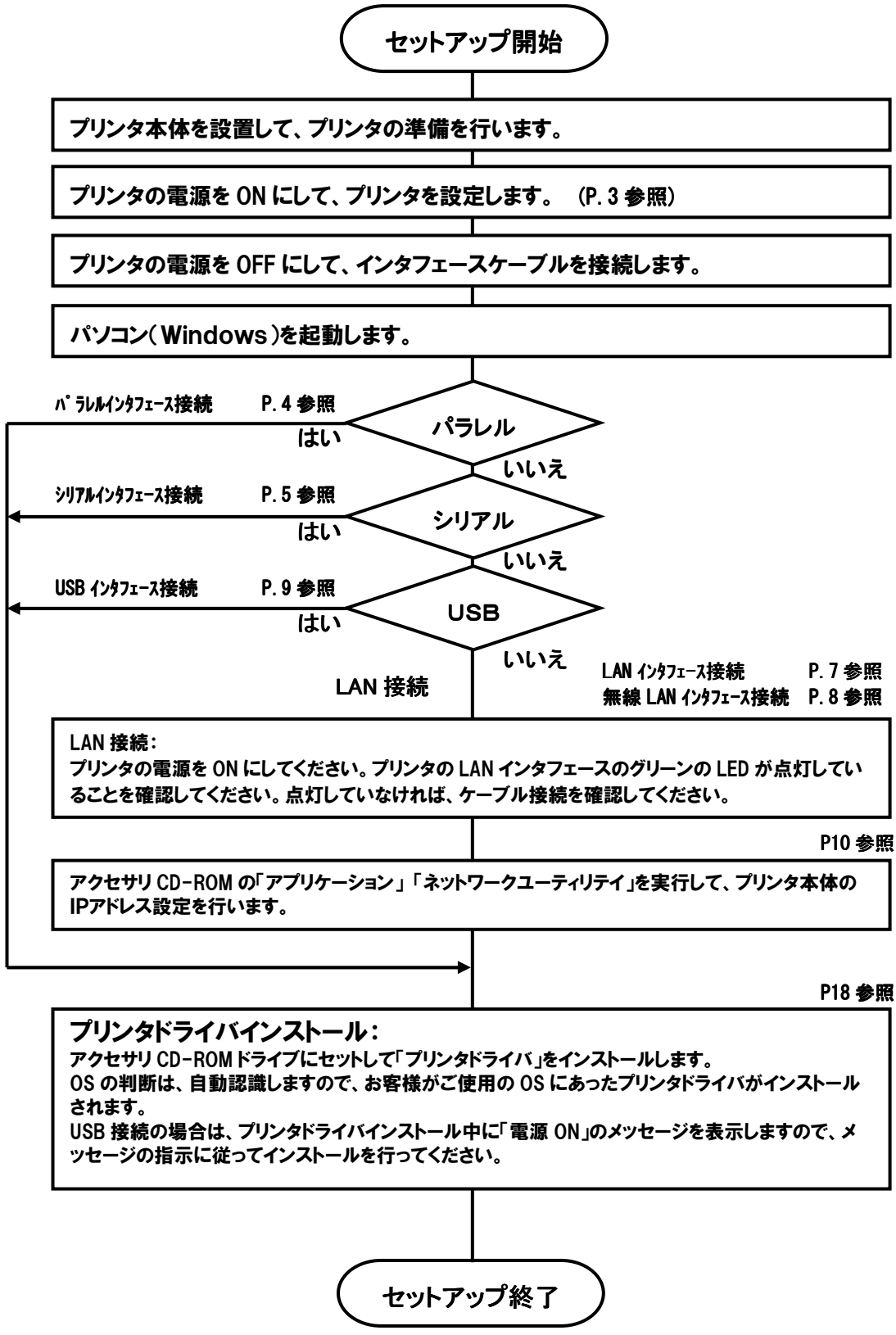
添 付 品

1. 保証書
2. ヘッドクリーニングセット
3. ヘッドクリーニングシート（ラッピングシート）
4. 電源コード
5. 2 極アダプタ
6. リボンコア
7. カーボンリボン
8. テスト用ラベル
9. 取扱説明書
10. セットアップガイド（本書）
11. SATO アクセサリ CD-ROM
12. オプションケーブル
13. ボリューム調整用ドライバ

注意1 **パラレルインタフェースを接続する場合、パソコンとプリンタとの間で双方向通信を行うため必ず推奨品の IEEE1284 準拠ケーブルをお使いください。**

注意2 **プリンタドライバは、「アクセサリ CD-ROM」に収納されています。**

プリンタドライバをインストールするまでの作業手順



プリンタ本体の準備を行ってください。

準備 1. 電源ケーブルをプリンタに接続してください。

準備 2. ご使用になるラベル、リボンをセットしてください。

準備 3. プリンタの電源を ON にしてください。
（インタフェースケーブルは接続しないでください。）

準備 4. はじめにプリンタ本体の動作条件を設定してください。

設定 1. プリンタ本体動作条件設定（ユーザーモード）を設定してください。

「印字濃度レンジ」、「印字濃度」、「印字スピード」、「基点補正」、
「ゼロフォント切替え」、「漢字コード切替え」、「漢字フォント選択」、
「プロポーショナルピッチ切替え」の各種設定を行います。

注意：詳しい内容は、取扱説明書を参照してください。

※ユーザモードを起動する場合は、［ＬＩＮＥ］キーを押しながら電源をＯＮにしてください。

設定 2. ディップスイッチ 2(DSW2)を設定してください。

DSW2

ＮＯ	機　　能	説　　明
1	印字方式設定	ＯＮ　：感熱方式 ＯＦＦ：熱転写方式
2	センサ設定	ＯＮ　：未使用 ＯＦＦ：反射式（アイマーク）
3	ヘッドチェック	ＯＮ　：有効 ＯＦＦ：無効
4	ＨＥＸダンプモード	ＯＮ　：有効 ＯＦＦ：無効
5	受信モード	ＯＮ　：１アイテム受信 ＯＦＦ：マルチ受信 ※ＬＡＮ接続の場合は、OFF⇒周期応答ステータス ON ⇒ＥＮＱ応答ステータス
6	ダウンロードモード	ＯＮ　：有効 ＯＦＦ：無効
7	工場設定用	
8	印字領域設定	ＯＮ　：178mm　(MR400e、MR410e、M-4800RVe、MT400e、MT410e、MR610e、M-48Pro8、M-48Pro12、M-48Pro24) 236mm　(MR600e) ＯＦＦ：400mm　(MR400e、MR410e、M-4800RVe、MT400e、MT410e、MR600e、MR610e、M-48Pro8、M-48Pro12、M-48Pro24) ※MT/MR110w は「ON」「OFF」に関係なく 300mm となります。

設定 3. ディップスイッチ 3(DSW3)を設定してください。

プリンタの動作モードを設定します。詳しい内容は、取扱説明書を参照してください。

注意3　パソコンにあわせた通信設定を行ってください。プリンタ設定を行った後、プリンタドライバをインストールしてください。

注意4　USB 接続の場合、プリンタドライバインストール中に、「プリンタの電源を入れてください」というメッセージが表示されます。それまでは、電源を入れないでください。

プリンタの電源が OFF のときに、インタフェースケーブルを接続してください。

パラレルインタフェース接続（オプション）

プリンタのパラレルインタフェースボードを確認してください。

下図のように、パラレルケーブル（IEEE1284 準拠ケーブル）を接続してください。

パラレルインタフェース仕様

IEEE1284 準拠：互換モード、ECP モード、ニブルモードをサポートします。

ECP モードは、パソコン機種によりサポートしていないことがあります。
パソコンのパラレルインタフェース仕様をご確認ください。
ECP モードは、パソコンの BIOS 設定で行います。パソコン機種によっては、Windows 上のツールソフトを使用することもあります。

注意5 **IEEE1284 準拠ケーブル以外のケーブルを使用される場合、データ化けが発生することがありますので、必ずサトー添付品（オプション）をお使いください。**

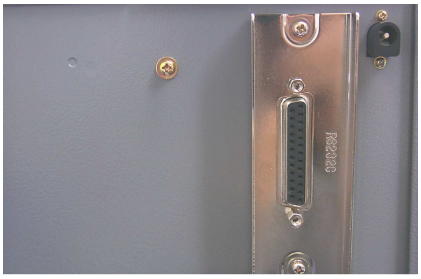
注意6 **ご使用になる、パソコン機種が IEEE1284 をサポートしていない場合は、双方向通信ができません。**
「書き込みエラー」が発生した場合、プリンタドライバのプロパティの「詳細」の「スプールの設定」で「このプリンタの双方向通信機能は、サポートしない（I）」に設定してください。この場合、プリンタのステータス情報を必要とする「ステータス監視モニタ」等のソフトは正常動作しません。ご注意ください。

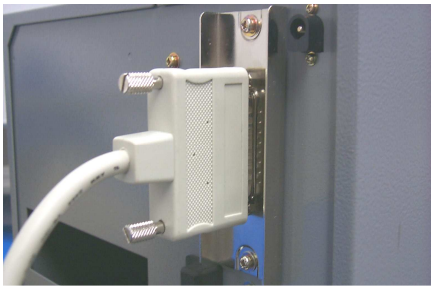
注意7 **パソコン機種によっては、ECP モードの設定を行っても ECP 動作を行わない機種があります。パソコンメーカーへお問合せください。**

注意8 **Windows95 のバージョンによっては、双方向パラレルをサポートしていませんので、パソコンメーカーへお問合せください。**

シリアルインタフェース接続(オプション)

プリンタのシリアルインタフェースボードを確認してください。
下図のように、RS-232C ケーブルを接続してください。





RS-232C インタフェース仕様

通信速度　　：9600bps、19200bps、38400bps、57600bps
データ長　　：７ビット、８ビット
ストップビット　：１ビット、２ビット
パリティチェック：無し、奇数、偶数
通信プロトコル　：４種類
READY/BUSY（ER 制御)、XON/XOFF、ドライバ専用プロトコル、ステータス 3

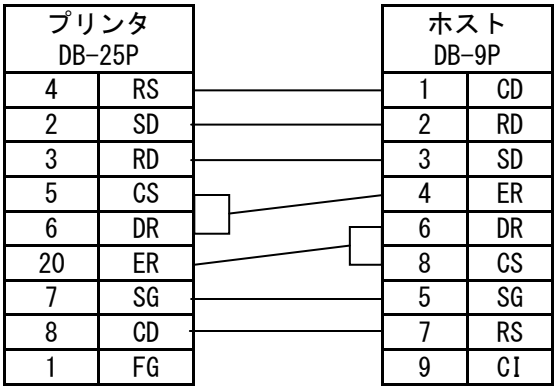
シリアルインタフェース接続の場合、パソコンの通信設定にあわせて、プリンタの通信設定を行ってください。

インタフェースボード内の DSW1

DSW1

NO	機　能	説　明
1	データ長	ON ：7 ビット OFF：8 ビット
2 3	パリティ設定	DSW2 / DSW3 / パリティ設定 ON / ON / 未使用 ON / OFF / 奇数 OFF / ON / 偶数 OFF / OFF / なし
4	ストップビット	ON:　2 ビット OFF:　1 ビット
5 6	ボーレート	DSW5 / DSW6 / ボーレート ON / ON / 57600bps ON / OFF / 38400bps OFF / ON / 19200bps OFF / OFF / 9600bps
7 8	プロトコル	DSW7 / DSW8 / プロトコル ON / ON / 未使用 ON / OFF / ドライバ専用プロトコル（ステータス 3 DSW2-8 ON） OFF / ON / XON/XOFF OFF / OFF / READY/BUSY

1. ケーブル結線図「サトー添付品(オプション)」



プリンタ DB-25P		ホスト DB-9P	
4	RS	1	CD
2	SD	2	RD
3	RD	3	SD
5	CS	4	ER
6	DR	6	DR
20	ER	8	CS
7	SG	5	SG
8	CD	7	RS
1	FG	9	CI

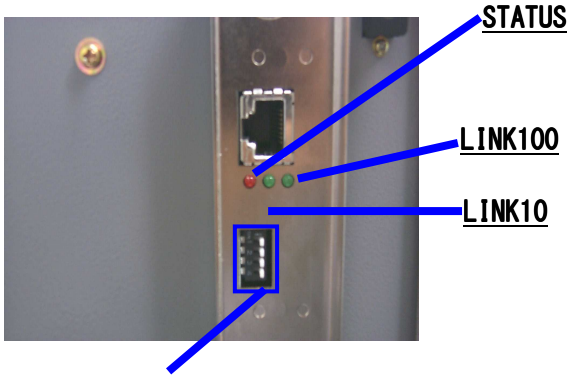
注意9 **シリアルインタフェースの詳細については、アクセサリ CD-ROM 「SBPL プログラミングガイド」をご確認ください。**

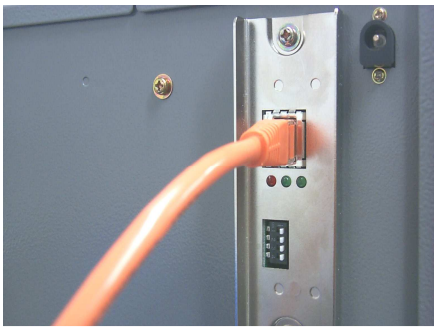
注意10 **パソコンとの通信設定があっていないと正常動作しません。インタフェースエラーになります。**

注意11 **プリンタドライバを使用するときには、必ず通信プロトコルを「ドライバ専用プロトコル」、受信モードを「マルチ受信」に設定してください。**

LAN インタフェース接続(オプション)

プリンタの LAN インタフェースボードを確認してください。
下図のように、LAN(UTP)ケーブルを接続してください。





STATUS : パケットを受信したとき点灯します。
LINK10 : 接続先を 10BASE-T と認識したとき点灯します。
LINK100 : 接続先を 100BASE-TX と認識したとき点灯します。
DSW1 : 設定内容をプリンタから印字して確認するために使用します。

ＬＡＮインタフェース仕様

10BASE-T／100BASE-TX は自動認識します。
プロトコルは、TCP/IP をサポートしています。

プリンタドライバは、専用 SOCKET インタフェースを使用してデータ通信を行います。

LANインタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境にあわせた、通信条件設定が必要です。プリンタ本体のIPアドレスを設定してください。
プリンタ本体のIPアドレスは、添付品のアクセサリ CD-ROM にあるネットワークユーティリティを使って設定します。
ネットワークユーティリティの使用方法は、P.10 以降を参照してください。

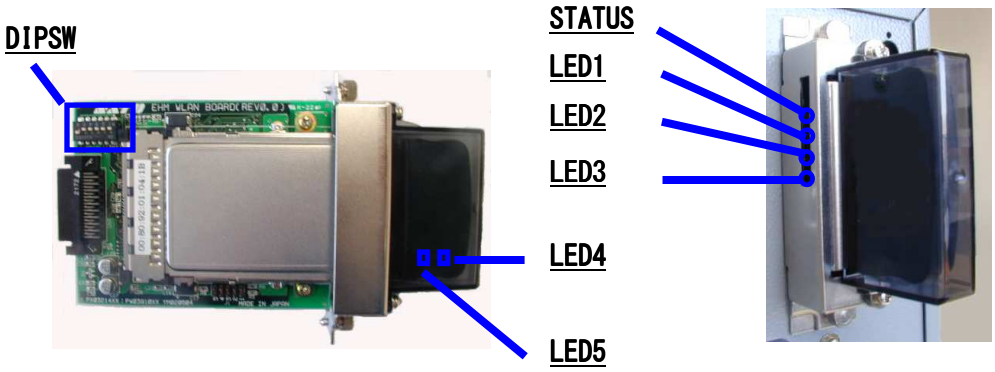
注意12 **ネットワークユーティリティを使うと、パソコンからプリンタのIPアドレスの設定や、設定内容の表示・印刷確認ができます。**
また、プリンタの LAN インタフェースボードにある DSW1-3 を操作することで、プリンタに登録されている設定内容をラベルに印字することができます。

操作 **プリンタに登録されている、IPアドレス等の設定内容をプリンタから印字させるには、プリンタの電源を OFF にして、プリンタの LAN インタフェースボードにある DSW1-3 を ON にしてから電源を入れてください。**
設定されている内容(IPアドレス等)が印字されます。
注意:印字後は、プリンタの電源を OFF にして、必ず DSW1-3 を OFF にしてください。

注意13 **プリンタドライバを使用されるときは、必ず受信モードを「マルチ(周期応答ステータス)」に設定してください。(P.3 参照)**

無線 LAN インタフェース接続(オプション)

プリンタの無線 LAN インタフェースボードを確認してください。



STATUS　：無線パケットを受信したとき点灯します。
LED1～3　：無線 LAN の通信モード別に点灯します。
①「Infrastructure」モード　(DIPSW5:OFF、DIPSW6:ON)
電波強度を 3 段階で表示します。
弱　：LED1 が点灯します。
中　：LED1、2 が点灯します。
強　：LED1～3 が点灯します。
②「802.11 Ad hoc」モード　(DIPSW5:OFF、DIPSW6:OFF)
LED3 が点灯します。
③「Ad hoc」モード　(DIPSW5:ON、DIPSW6:OFF)
LED2 が点灯します。
LED4　：通信が確立したとき点灯します。
LED5　：プリンタの電源が ON のとき点灯します。
DIPSW　：無線 LAN ボードの通信モード設定と、設定した内容をプリンタから印字して確認することができます。

無線 LAN インタフェース仕様

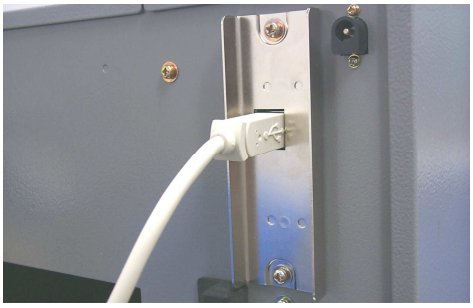
・規格　IEEE802.11b 準拠
・通信速度　11/5.5/2/1Mbps（自動切替え）
・通信距離　屋内（最大 100m）　屋外（最大 240m）
※通信距離は、使用環境により変動します。
・通信チャンネル　1～14（初期値 11）
・SSID　任意の英数文字列を最大 32 文字設定
・WEP　「DISABLE」、「64bit」、「128bit」（初期値「DISABLE」）
・WEP KEY　16 進コード入力

無線 LAN インタフェースのプロトコルは、LAN インタフェースと同じ仕様になります。

無線LANインタフェース接続の場合、お客様のネットワーク環境にあわせた、通信条件設定が必要です。プリンタ本体のIPアドレスを設定してください。
プリンタ本体のIPアドレスは、添付品のアクセサリ CD-ROM にあるネットワークユーティリティを使って設定します。
ネットワークユーティリティの使用方法は、P.10 以降を参照してください。

USB インタフェース接続（オプション）

プリンタの USB インタフェースボードを確認してください。
下図のように、USB ケーブルを接続してください。



注意14 **USB 接続の場合、パソコンにプリンタドライバをインストールするまでは、USB ケーブルを接続した状態で、プリンタ本体の電源を ON にしないでください。**
ドライバがインストールされずに電源が ON にされると Windows の Plug & Play が実行され、USB ドライバインストールメッセージが表示されますのでキャンセルしてください。
USB ドライバは、プリンタドライバとともにインストールされます。

注意15 **プリンタドライバの USB インタフェースは、Windows98/Me、Windows2000/XP のみサポートしています。**

注意16 **パソコンには、USB インタフェースを 2 ポート搭載している機種があります。**
ケーブルの接続箇所により、「出力デバイス名」が違いますので、間違えないようにケーブルを接続してください。
例１）Windows98 の場合
1USB＆ROOT_HUB（1 ポート目）
2USB＆ROOT_HUB（2 ポート目）
例２）Windows98（Second Edition）/WindowsMe の場合
INST_0（最初に認識されたポート）
INST_1（次に認識されたポート）
例３）Windows2000/XP 場合
5＆3bcb19f＆0＆1（1ポート目）
5＆3bcb19f＆0＆2（2ポート目）

注意17 **パソコン機種によっては、USB バージョンがプリンタと異なるため、データ化けが発生して接続できないケースがあります。事前確認を必ず行ってください。**

注意18 **パソコン機種によっては、USB バージョンがプリンタと異なるため、通信誤動作が発生します。1メートル長のケーブルを使用してご確認ください。**
それでも接続できない場合は、パソコンメーカーにお問合せください。

3．ネットワークユーティリテイ

はじめに

ネットワークユーティリティ（Admin Manager）は、サトー製プリンタ専用のネットワーク環境設定ソフトです。

本書で説明している画面は、特に断りがない限り MR400e シリーズを使用しています。そのため、実際にご使用になるプリンタの機種によっては、若干画面構成が異なる場合がありますので、ご了承ください。

ネットワークユーティリティとは、こんなソフトです。

LAN に接続されたサトー製プリンタを、検索することができます。

検索されたプリンタを選択して、IP アドレス等の条件を設定することができます。

設定状態をプリンタからラベルに印字することができます。

注意 プリンタが検索されない場合は、

- **プリンタの電源を確認してください。**
- **プリンタの LAN インタフェースボードのグリーン LED が点灯していることを確認してください。**
- **ご使用のパソコンとプリンタがネットワーク環境に接続されているか確認してください。**
- **パソコンとプリンタを LAN クロスケーブルで直接つなぐか、ハブのカスケードを外してローカルの LAN 環境にしてください。**

①

プリンタ本体を確認してください。

プリンタに LAN ケーブルを接続し電源を ON にしてください。

プリンタの LAN インタフェースボード、無線 LAN インタフェースボードのグリーン LED が点灯しているかを確認してください。

②

ネットワークユーティリティを起動します。

1．「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。

2．「メインメニュー」画面が表示されます。

注意 自動起動しない場合は、CD-ROM の「STARTUP.EXE」をダブルクリックしてください。

3．「メインメニュー」画面より、「スキャントロニクス　プリンタ」をクリックします。

4．「スキャントロニクスシリーズ プリンタ」画面より、「ユーティリティ」をクリックします。

5．「ユーティリティ」画面より、「ネットワークユーティリティ」を選択し「起動」をクリックします。

6．ネットワークユーティリティ「Admin Manager」が起動します。

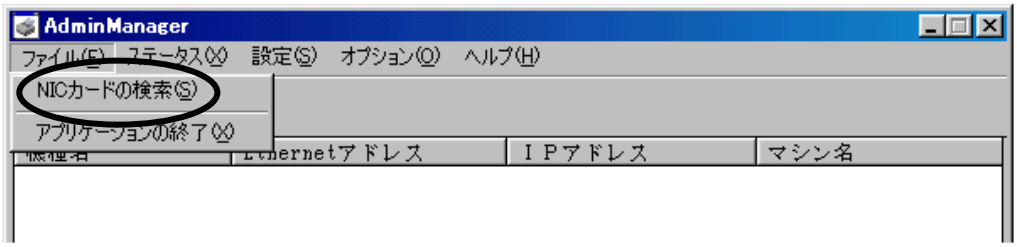
③

プリンタにIPアドレスを設定します。

まず、設定を行うプリンタを検索します。

1.「ファイル（F)」メニューから「NIC カードの検索（S)」をクリックします。

※「NIC カード」とは、LAN インタフェースボードのことです。



2.検索されたプリンタの一覧が表示されます。

①LAN ボードをセットしたプリンタを検索した場合の機種名は以下となります。

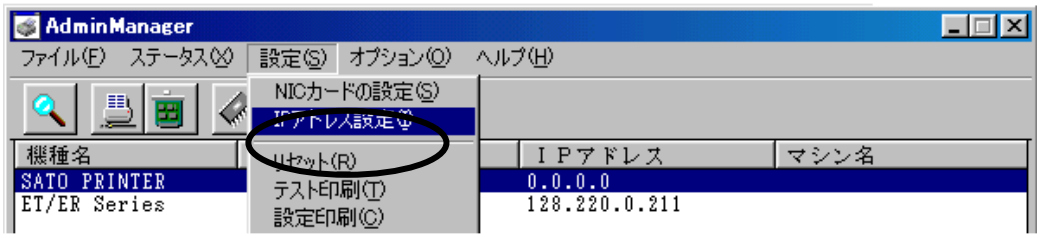
注意　タイミングにより、検索できないときがあります。繰り返し検索を行ってください。

②無線 LAN ボードをセットしたプリンタを検索した場合の機種名は以下となります。

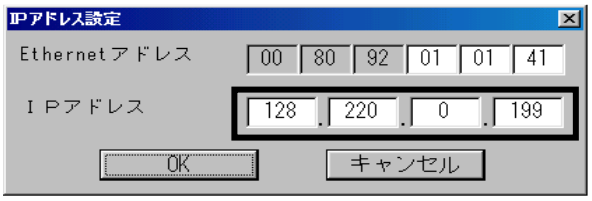
注意　タイミングにより、検索できないときがあります。繰り返し検索を行ってください。

3.設定するプリンタをクリックしてください。

4．プリンタの IP アドレスを設定します。
「設定(S)」から「IP アドレス設定(I)」をクリックします。

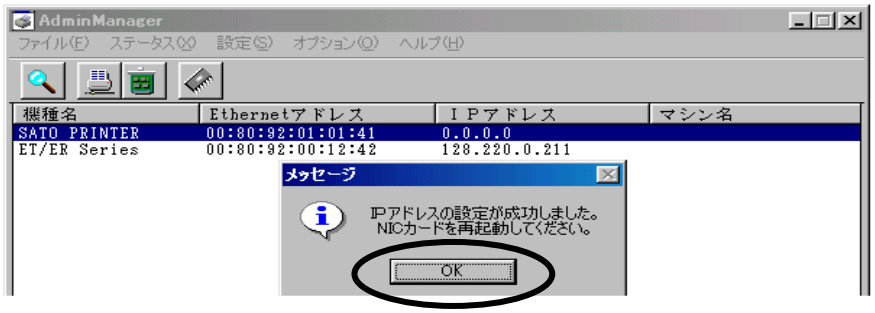


5．IP アドレスを入力します。

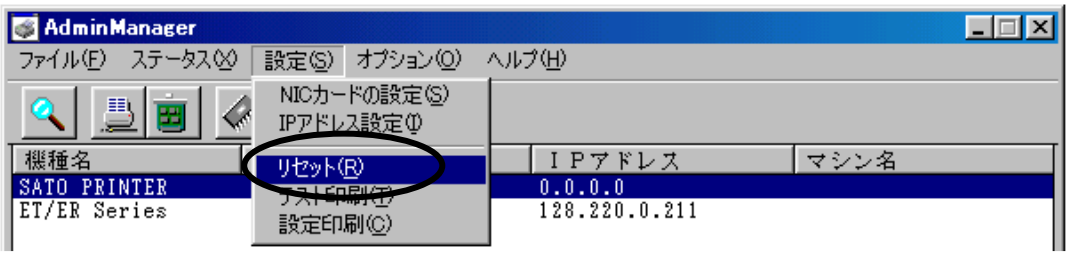


6．IP アドレスを入力後、「OK」をクリックするとプリンタに IP アドレスを登録します。

7．IP アドレスの登録を完了すると「NIC カードを再起動してください。」
のメッセージを表示します。「OK」をクリックしてください。



８．「設定(S)」から「リセット(R)」を選択し、NIC カードをリセットします。



選択されたプリンタの NIC カードをリセットします。
リセット後、再度、プリンタの検索（「NIC カードの検索」）を行ってください。
設定された IP アドレスのプリンタが表示されたら、プリンタの IP アドレス設定は完了です。
サブネットマスクなどの設定を行う場合、「その他の設定 （P.14）」を参照してください。

ヒント

IPアドレスを設定する際に下記のエラーメッセージが表示された場合の対処方法

操作

※LANボードの初期化を行ないます。

①プリンタのLANインタフェースボードにある DSW1-2 を「ON」にし、プリンタの電源を入れます。（約 10 秒間電源を入れた状態にします）

②プリンタの電源を切ります。

③プリンタのLANインタフェースボードにある DSW1-2 を「OFF」にし、プリンタの電源を入れます。

④ネットワークユーティリティの「NICカードの検索」からやり直して、IPアドレスを設定してください。

※パソコンに設定されているIPアドレスを確認し、再度IPアドレスを設定してください。

④

その他の設定

1.「設定(S)」「NIC カードの設定(S)」をクリックします。

2.TCP/IP の設定
「TCP/IP」をクリックします。

①「DHCP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、DHCP サーバから割り当てられる IP アドレスを有効とします。
チェックが外れている（機能が無効）ことを確認し、設定してください。

②「RARP を使用する」のチェックボックスにチェックすると、MAC アドレスから IP アドレスを認識します。
チェックが外れている（機能が無効）ことを確認し、設定してください。

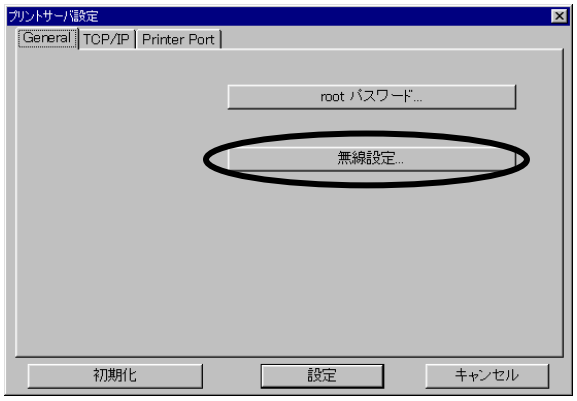
注意 **NIC カードの初期状態は、**
・IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイは「0. 0. 0. 0」
・DHCP、RARP は「有効」
になっています。

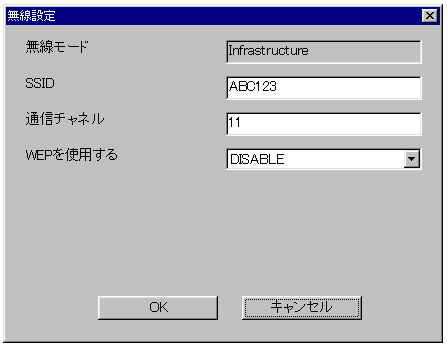
③　「IP アドレス」の指定ができます。

④　「サブネットマスク」の指定ができます。

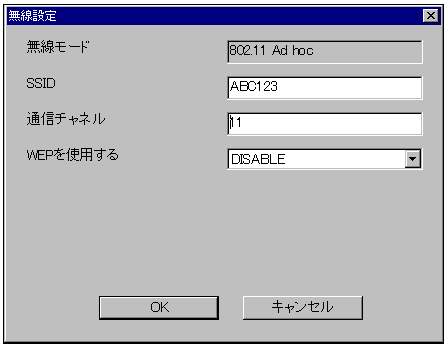
⑤　「ゲートウェイ」の指定ができます。

3. 無線設定
「無線設定」をクリックします。
無線 LAN ボードの通信モード（DSW5、DSW6 設定）により、下記画面にて設定します。





「Infrastructure」モード
（DSW5:OFF、DSW6:ON 設定）



「802.11 Ad hoc」モード
（DSW5:OFF、DSW6:OFF 設定）

「Ad hoc」モード
（DSW5:ON、DSW6：OFF 設定）

①SSID の設定
任意の英数文字列を最大 32 文字設定できます。(初期値は「NULL」です。)
注意 「Ad hoc」モードの場合は、SSID の指定は可能ですが、設定は無効となります。

②通信チャンネルの設定
1～14 のチャンネルを指定します。(初期値は「11」です。)
注意 「Infrastructure」モードの場合は、通信チャンネルの指定は可能ですが、設定は無効となります。

③WEP の設定
WEP を指定します。(初期値は「DISABLE」です。)

WEP を「64bit」に指定した場合
10 桁の 16 進コードを入力します。

WEP を「128bit」に指定した場合
26 桁の 16 進コードを入力します。

「64bit」設定

「WEP」設定方法
(例) SATO と入力する場合

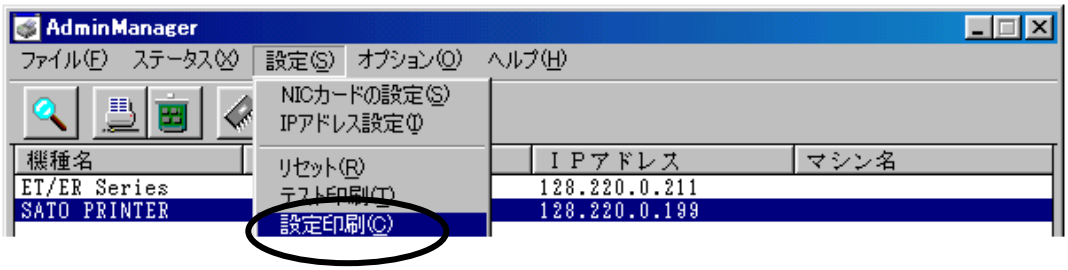
「53」「41」「54」「4F」と
入力します。

「128bit」設定

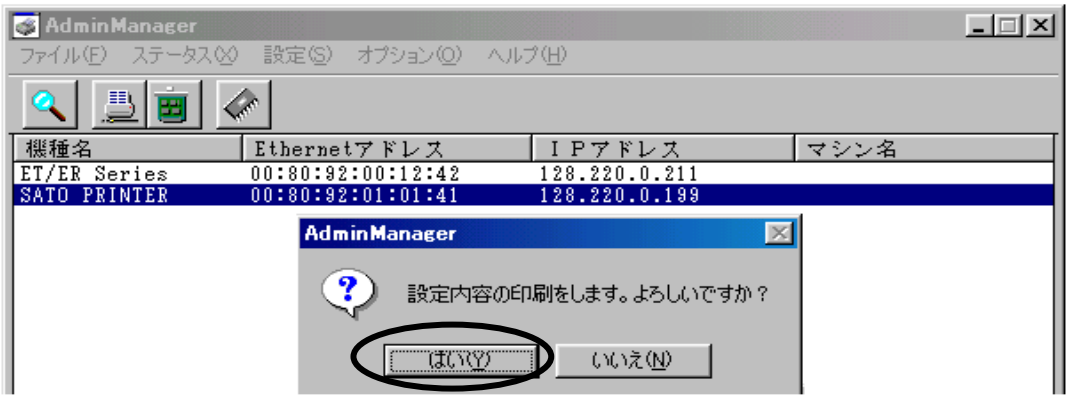
⑤

プリンタから IP アドレス等の設定情報を印字させるには

1．「設定(S)」メニューから「設定印刷(C)」をクリックします。



2．「はい(Y)」をクリックすると設定内容が印字されます。



テスト印刷を行うには

「設定(S)」メニューから「テスト印刷(T)」をクリックします。

4．プリンタドライバのインストール方法

プリンタドライバをインストールする手順を説明します。
（Windows95/98/Me　WindowsNT4.0　Windows2000　WindowsXP）

お願い
インストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションは、全て終了させてください。

① プリンタの電源がオフになっていることを確認して、Windows を起動します。
② 起動したら「SATO アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。
③ 「メインメニュー」画面より、「スキャントロニクス　プリンタ」をクリックします。
④ 「スキャントロニクスシリーズ　プリンタ」画面より、「プリンタドライバ」をクリックします。
⑤ 「プリンタドライバ」画面より、インストールするプリンタを選択します。
⑥ 「インストール」をクリックします。

メインメニュー

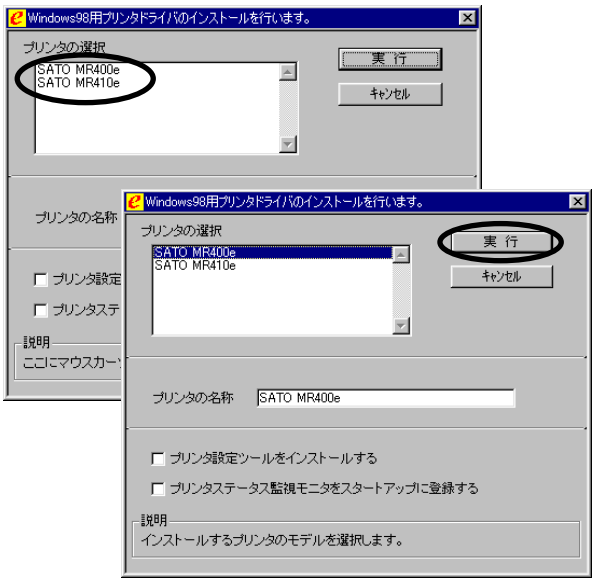
スキャントロニクスシリーズ　プリンタ

プリンタドライバ

※ WindowsNT4.0、Windows2000、WindowsXP の環境でインストールする場合、下記事項に注意してインストールしてください。

（1）プリンタドライバのセットアップを行う場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
（2）プリンタドライバのプロパティ設定、ドキュメントの既定値設定を行う場合は、Administrator 権限ユーザーでログインしてください。
（3）プリンタドライバを使用して発行するには、Administrator 権限ユーザーでログインするか、ドライバの「セキュリティ」タブ画面の「アクセス権」ボタンで、Everyone のアクセス権を「フルコントロール」に設定してください。

⑦「プリンタの選択」を行い「実行」をクリックします。



※プリンタドライバをインストールすると同時にステータス監視モニタもインストールされます。

【プリンタの選択】
インストールするプリンタを選択します。
【プリンタの名称】
プリンタドライバの名称を入力できます。

【チェックボックス】
チェック有りの場合

・プリンタ設定ツール
ドライバと共にインストールされます。

・プリンタステータス監視モニタ
ドライバと共にインストールされます。
Windowsスタートアップに登録することができます。

プリンタ設定ツール
プリンタ設定をおこなうアプリケーションソフトです。
プリンタ本体で設定するため、通常はインストールする必要はありません。オンラインでプリンタ設定を行う場合に必要となります。

プリンタステータス監視モニタ
プリンタ状態を監視するモニタです。

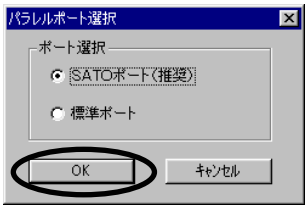
パラレルポート インストール

注意 **Windows2000/XP では、パラレルポート対応のドライバのインストール手順が異なるので**
P.27「Windows2000/XP LPT ポートインストール」を参照してください。

⑧「パラレル(LPT)」をクリックします。
「SATO ポート(推奨)」を選択し、「OK」をクリックします。

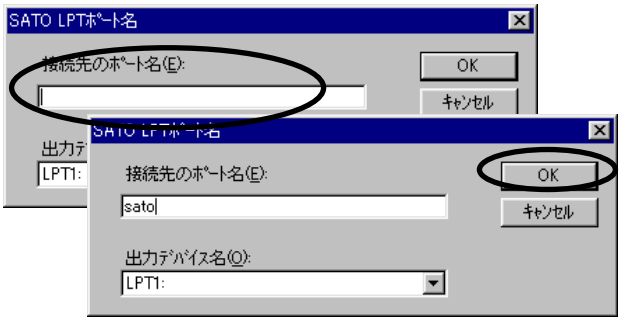
※「SATO ポート(推奨)」を選択し「OK」をクリックすると⑨に移行します。

※「標準ポート」を選択し「OK」をクリックすると⑩に移行しインストールが完了します。



※標準ポートは「LPT1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信を行わない場合に指定します。
標準ポートの「LPT1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

⑨「接続先のポート名(E)」を入力します。
「出力デバイス名(O)」を選択して「OK」をクリックします。



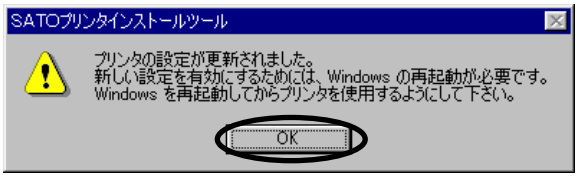
「接続先のポート名(E)」
ポート名を入力します。

「出力デバイス名(O)」
出力先のデバイスを選択します。
通常は「LPT1」を選択します。

ヒント

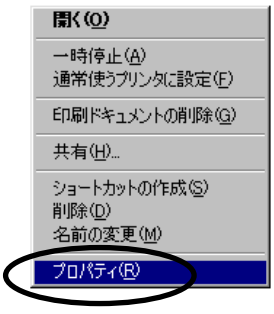
接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

⑩「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。
Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。

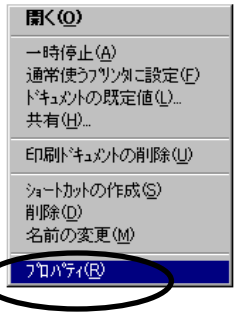


⑪ **Windows が起動した後、プリンタの電源を入れてください。**
「プリンタ」フォルダを開き、インストールしたプリンタのアイコンをクリックし、
「プロパティ(R)」をクリックしてください。

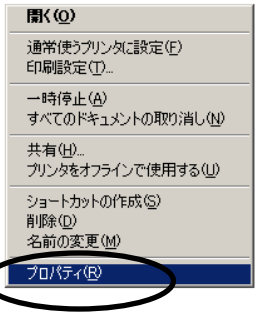
Windows95/98/Me



WindowsNT4.0

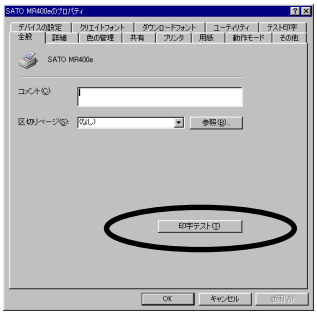


Windows2000/XP

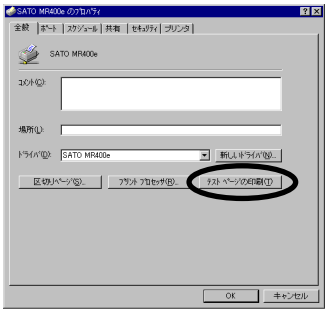


⑫ **Windows95/98/Me をご使用の場合は「印字テスト(T)」、**
WindowsNT4.0/2000/XP をご使用の場合は「テストページの印刷(T)」を
クリックしてください。
Windows のテストラベルが発行されます。ラベルが発行された場合はプリンタ
と接続できている状態となります。印字テストの確認が表示されますので、「は
い(Y)」をクリックします。プロパティの「OK」をクリックし、プリンタとの接続確
認は完了です。

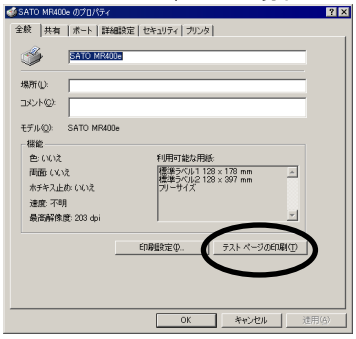
Windows95/98/Me の場合

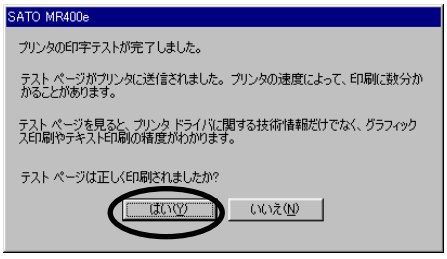


WindowsNT4.0 の場合



Windows2000/XP の場合





ヒント

「プリンタドライバのテスト印字ができない場合は」

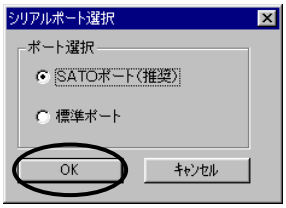
1. **プリンタドライバにて指定したポート「LPT、LAN、COM、USB」のケーブルが接続されていますか。**
2. **プリンタの電源は入っていますか。**

シリアルポート インストール

① 「シリアル(COM)」をクリックします。
「SATO ポート(推奨)」を選択し、「OK」をクリックします。

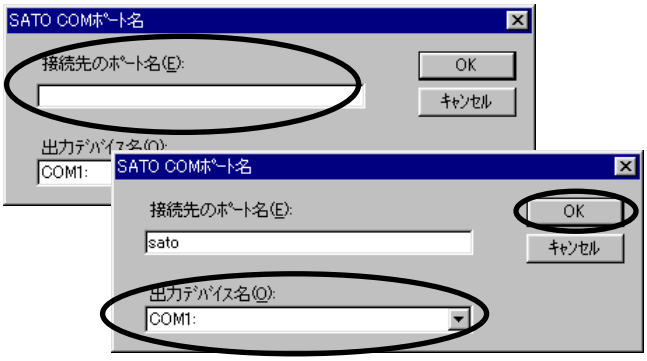
※「SATO ポート(推奨)」を選択し「OK」をクリックすると②に移行します。

※「標準ポート」を選択し「OK」をクリックすると③に移行しインストールが完了します。



※標準ポートは「COM1」でインストールします。
標準ポートは、双方向通信を行わない場合に指定します。
標準ポートの「COM1」以外で接続するときは、ドライバのセットアップ完了後に、プリンタドライバのプロパティ画面で出力ポートを変更してください。

② 接続先のポート名(E)を入力します。 出力デバイス名(O)を選択し、「OK」をクリックします。



【接続先のポート名(E)】
ポート名を入力します。

【出力デバイス名(O)】
出力先のデバイスを選択します。

ヒント

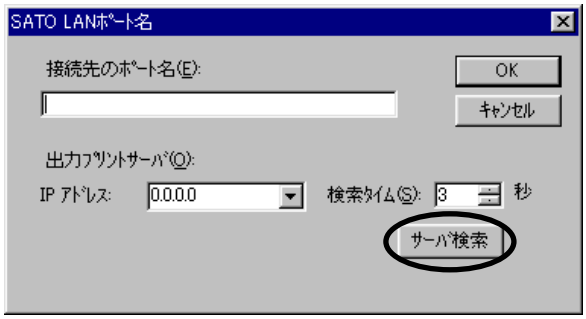
接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

③ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。

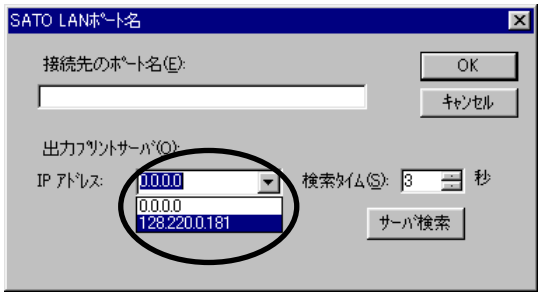
LAN ポート インストール

① 「LAN」をクリックします。

② プリンタIPアドレスが指定してあり、LAN 環境下にプリンタが設置してある場合には、プリンタの電源を入れて「サーバ検索」をクリックします。



③ 「サーバ検索」により検索した結果が表示されます。「OK」をクリックし検索したIPアドレスを選択します。

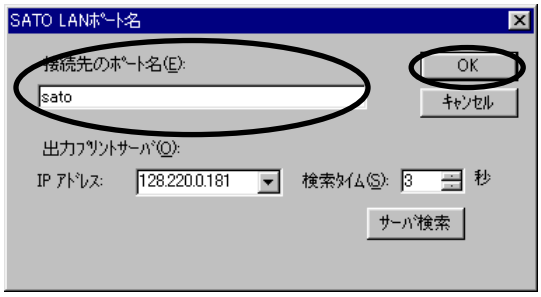


ヒント

検索できなかった場合

以下の点を確認してください。
※プリンタのIPアドレスは指定していますか？
※プリンタの電源は入っていますか？
※LANケーブルは接続してありますか？

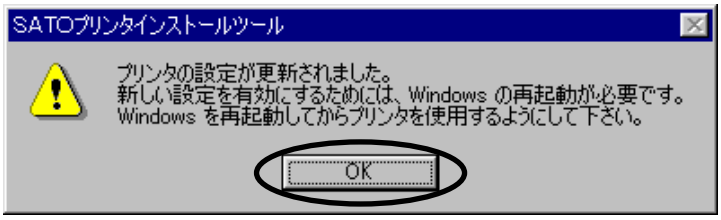
④ 「接続先のポート名(E)」を入力し、「OK」をクリックします。



ヒント

接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

⑤ 「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。



USB ポート インストール

USB ポートは、「Windows98」「WindowsMe」「Windows2000」「WindowsXP」のみ動作します。

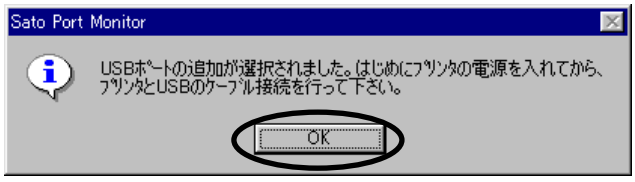
注意 **プリンタの電源をオフにし、USBケーブルをパソコンと接続します。**

インストール途中で「プリンタの電源を入れる」メッセージが表示されたときに、初めてプリンタの電源を入れてください。

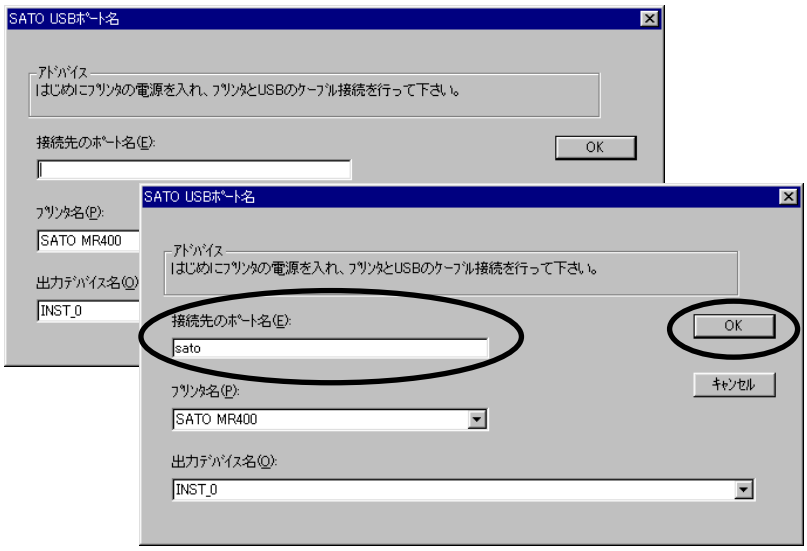
①「USB」をクリックします。

② プリンタの電源を入れます。
「ドライバ情報データベースの作成」が起動し、USB デバイスが登録されます。

③「OK」をクリックします。



④「接続先のポート名(E)」を入力し、「OK」をクリックします。



ヒント

接続先のポート名は、8文字以内で記述してください。

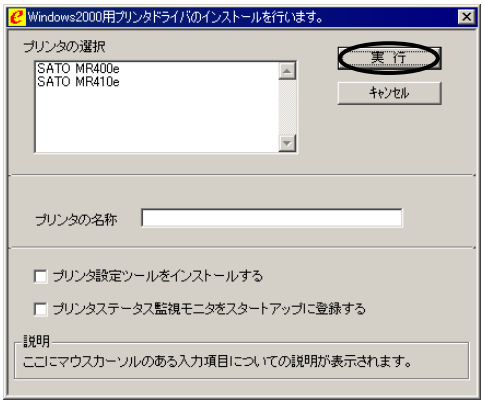
⑤「OK」をクリックします。以上でプリンタドライバのインストールは完了です。Windows を再起動して、プリンタドライバとプリンタが接続されているかを確認します。

Windows2000/XP LPT ポートインストール

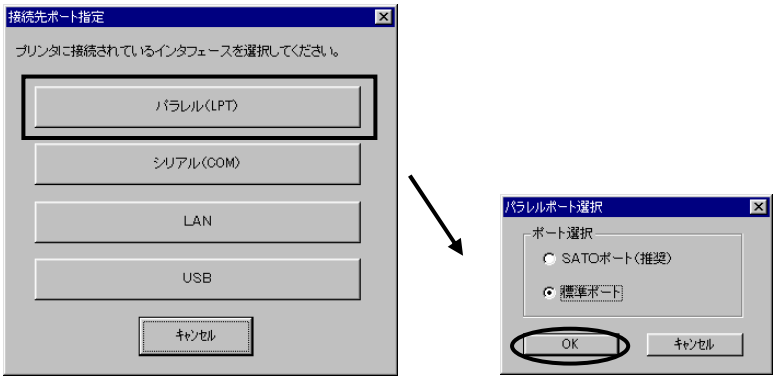
IEEE1284 ボードを使用する場合、プリンタドライバのインストールは、「SATO LPT ポート」をインストールする必要があります。
Windows2000/XP では、プリンタドライバをインストールしたあとに、プリンタの電源を入れた状態でパソコンを起動すると、Plug & Play が実行され「新しいハードウェアの検索ウィザード」が表示されますので、下記の手順でインストールしてください。

①プリンタドライバをインストールしている場合は、アンインストールを行ってください。
アンインストール方法は、P.46 を参照してください。
②アクセサリ CD を起動させます。
③「メインメニュー」の画面が表示されます。
④「メインメニュー」画面より、「スキャントロニクス　プリンタ」をクリックします。
⑤「スキャントロニクスシリーズ　プリンタ」画面より、「プリンタドライバ」をクリックします。
⑥「プリンタドライバ」画面より、インストールするプリンタを選択します。
⑦「インストール」をクリックします。

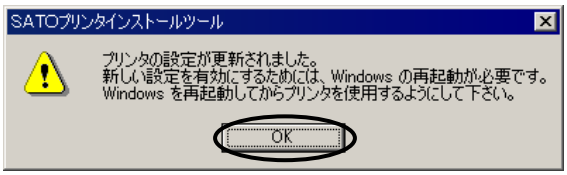
⑧ インストールするプリンタを選択し、「実行」をクリックします。



⑨ 接続先ポート「標準ポート」を選択し、「OK」をクリックします。

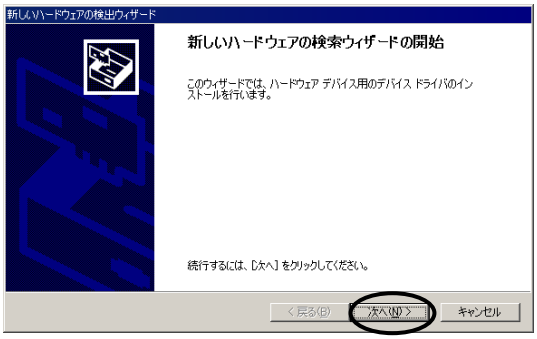


⑩「OK」をクリックします。プリンタドライバのインストールは終了です。

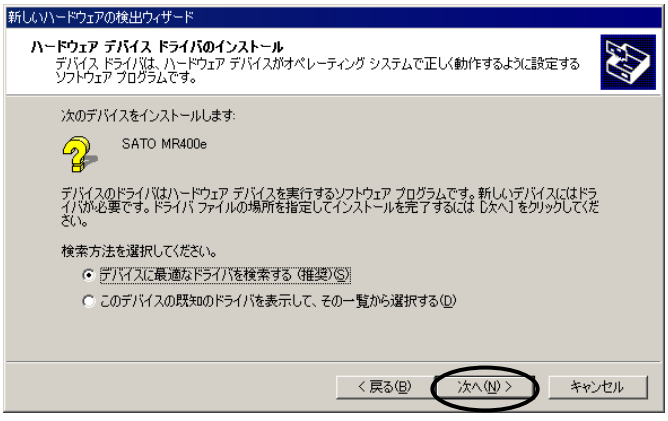


⑪プリンタをパラレルインタフェースに接続し、プリンタの電源を入れます。
⑫パソコンを再起動します。

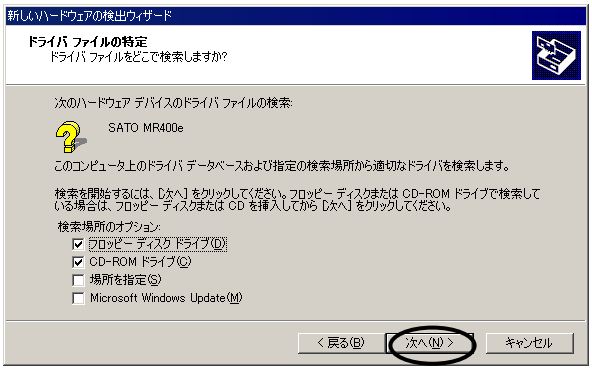
⑬ パソコン画面に「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。
「次へ(N)」をクリックします。



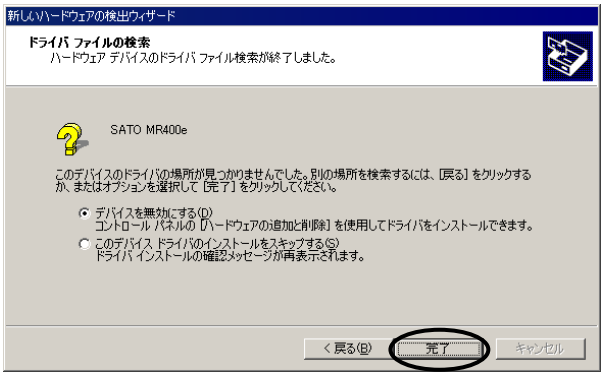
⑭「次へ(N)」をクリックします。

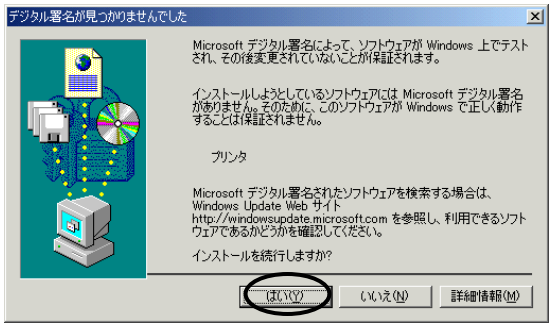


⑮「次へ(N)」をクリックします。



⑯「完了」をクリックします。

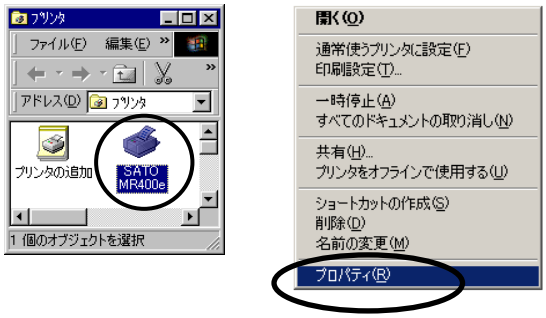




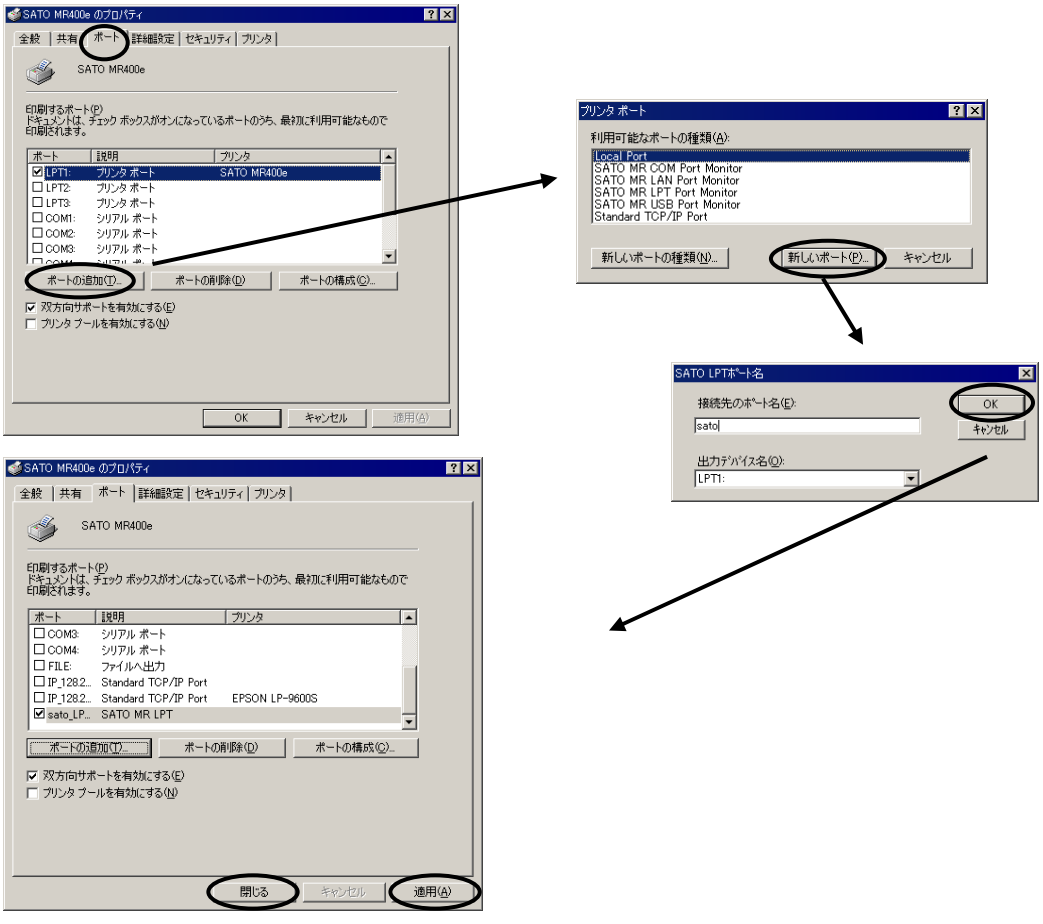
ヒント

「デジタル署名が見つかりませんでした」の表示は、表示される場合と、表示されない場合があります。表示された場合は、「はい(Y)」をクリックします。

⑰「プリンタ」フォルダを開き、インストールしたプリンタのアイコンをクリックし、「プロパティ(R)」をクリックしてください。



⑱「ポート」タブを開き、「ポートの追加(T)」ボタンをクリックします。「プリンタポート」より「SATO MR LPT Port Monitor」を選択し、「新しいポート(P)」をクリックします。「接続先のポート名(E)」を入力し、「OK」をクリックします。「適用(A)」「閉じる」をクリックし、インストールは完了します。



5．ラベル発行までの流れ（Windows95/98/Me）

アプリケーションソフトから作成したラベルレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してから行います。

① プリンタドライバのプロパティを開きます

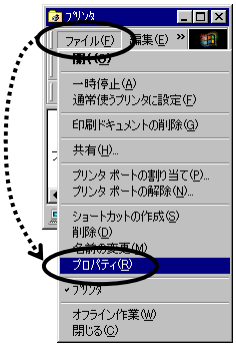
①「プリンタ」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンをクリックしてください。

※ここでは例として「MR400e」を選択しています。

ヒント

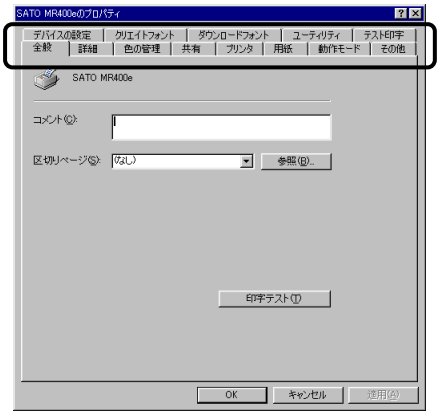
「プリンタ」フォルダを開く一般的な方法は、スタート をクリックし、「設定(S)」⇒「プリンタ(P)」を選択します。

②「ファイル(F)」メニューから「プロパティ(R)」を選択してください。プロパティが開きます。



ヒント

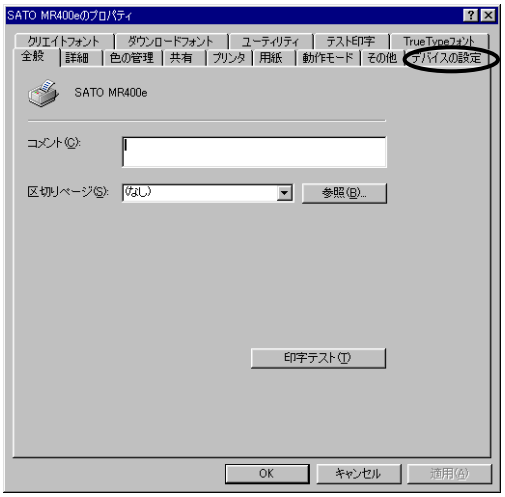
プリンタドライバの印字設定に関する主なものは、「用紙」「動作モード」「その他」「クリエイトフォント」のシートです。



②

プリンタの状態を取得します

①「デバイスの設定」タブを選択してください。



ヒント

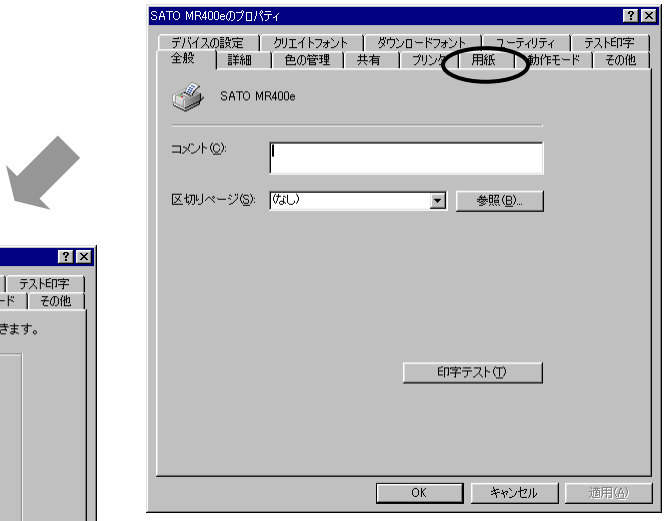
プリンタの設定情報を取得します。
情報を取得する場合、プリンタの電源を入れた状態で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
プリンタドライバをインストールしたあとは、必ず「デバイス」タブの「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

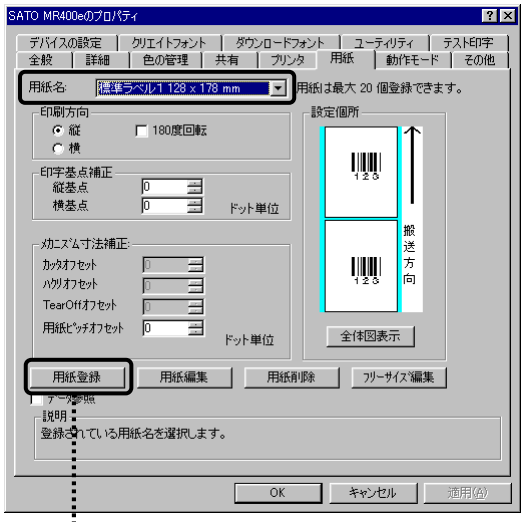
②プリンタの電源を入れてください。

③「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
プリンタ本体で指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」の欄に表示します。
プリンタ設定のリストボックスにて、プリンタ動作を選択し設定できます。

③ 用紙を選びます

①「用紙」タブを選択してください。





②「用紙名」の ▼ をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選択してください。

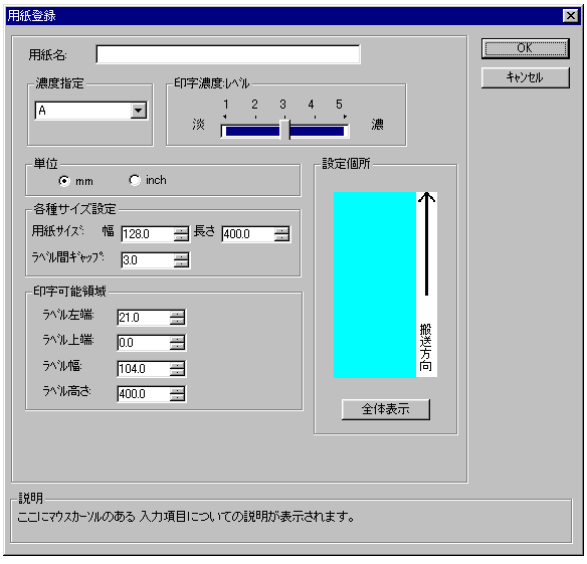
「用紙名」には数種類の標準ラベルがあらかじめ登録されています。

＜MR400e/410e、MT400e/410e、M-4800RVe、M-48Pro＞
- 標準ラベル 1　128×178(mm)
- 標準ラベル 2　128×400(mm)

＜MR600e＞
- 標準ラベル 1　180×239(mm)
- 標準ラベル 2　180×400(mm)

＜MR610e＞
- 標準ラベル 1　180×181(mm)
- 標準ラベル 2　180×400(mm)

＜MT/MR110w＞
- 標準ラベル 1　266×300(mm)
- 標準ラベル 2　258×50(mm)
- JAMA (L)　276×105(mm)
- JAMA (M)　276×85(mm)
- JAMA (S)　276×70(mm)



※標準ラベル以外の用紙を使用するときは

用紙登録 をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細はアクセサリ CD-ROM に収められている「Windows95/98/Me プリンタドライバ説明書」の「3. 用紙」を参照してください。

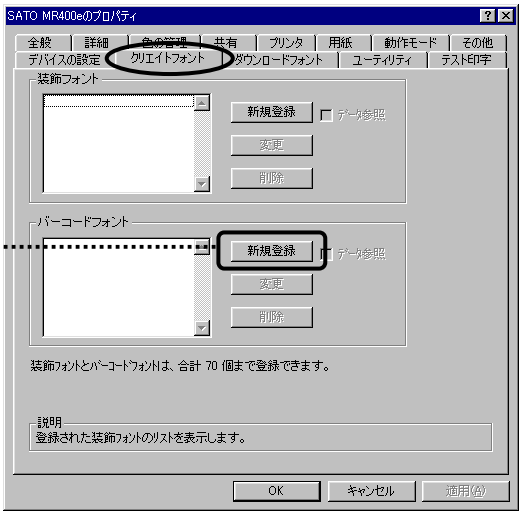
ヒント

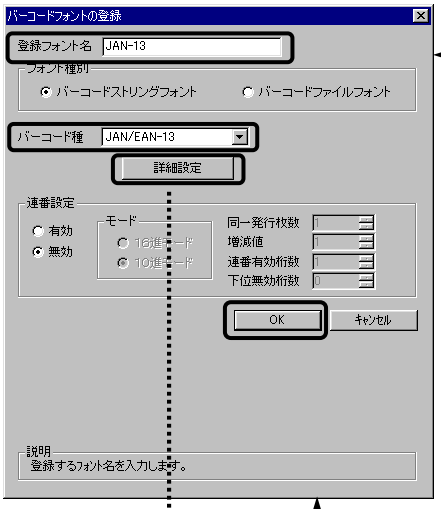
ここで選択した用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。
アプリケーションソフトによっては、あらためてアプリケーションソフトの用紙選択機能において用紙を選択する必要があるものもあります。アプリケーションソフトの用紙選択機能に関しては、アプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

④ バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

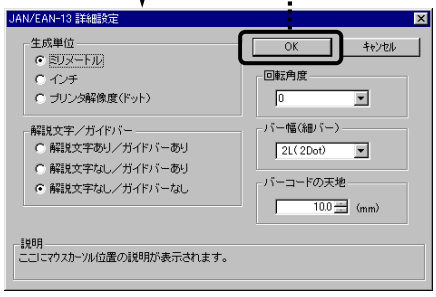
①「クリエイトフォント」タブを選択し、「バーコードフォント」グループの「新規登録」ボタンをクリックしてください。





②「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。

③「バーコード種」の ▼ をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。



④選択したバーコード種に対応する設定ダイアログが表示されます。

※ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定を行っています。

⑤設定が終了したら「OK」をクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」をクリックしてください。

以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能となります。

⑤ プリンタ動作を設定します

①「動作モード」タブを選択してください。

②「印字速度」の ▼ をクリックして、表示されるリストから印字速度を選択してください。

⑥ カッタ付プリンタをご使用の場合は

①「その他」タブを選択してください。

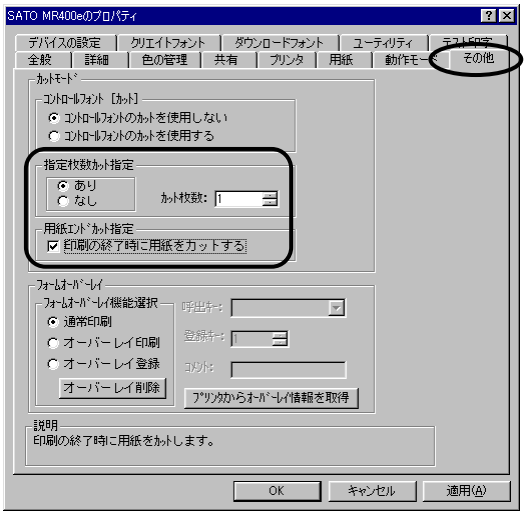
②一定枚数毎にラベルをカットする場合は

「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。

③印刷終了毎にラベルをカットする場合は

「印刷の終了時に用紙をカットする」チェックボックスにチェックを入れてください。

※「その他」シートに関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「Windows95/98/Me プリンタドライバ説明書」の「5. その他」を参照してください。

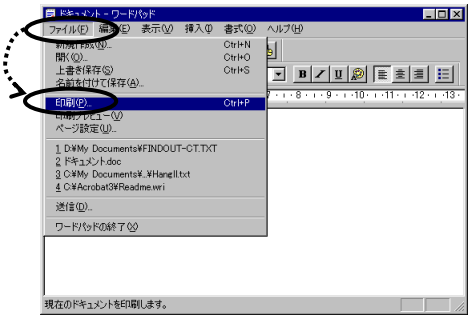


⑦ 設定が終わったら、プリンタドライバのプロパティを閉じます

プロパティの「OK」をクリックしてください。

⑧ ラベル発行を開始します

印刷の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せて参照してください。



ヒント

印刷を実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、ご使用のプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の ▼ をクリックし、表示されるリストから目的のものを選択することで設定できます。

またアプリケーションソフトによっては「③用紙を選びます」で選択した用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらためて用紙を選択する必要があるものもあります。

6．ラベル発行までの流れ（WindowsNT4.0）

アプリケーションソフトから作成したラベルレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してから行います。

① プリンタドライバの設定シートを開きます

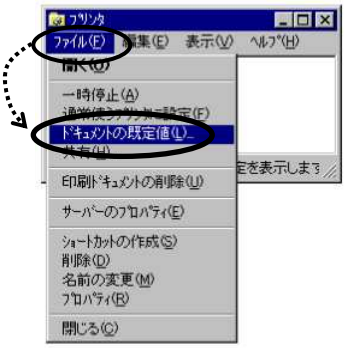
①「プリンタ」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンをクリックしてください。

※ここでは例として「MR400e」を選択しています。

ヒント

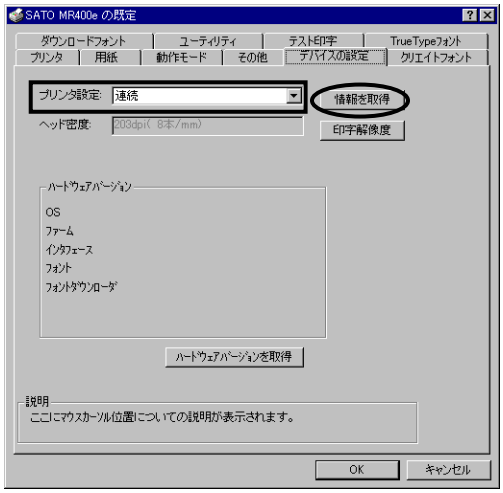
「プリンタ」フォルダを開く一般的な方法は、スタート をクリックし、「設定(S)」⇒「プリンタ(P)」を選択します。

②「ファイル(F)」メニューから「ドキュメントの既定値(L)」を選択してください。プリンタドライバの設定シートが開きます。



② プリンタの状態を取得します

①「デバイスの設定」タブを選択してください。



ヒント

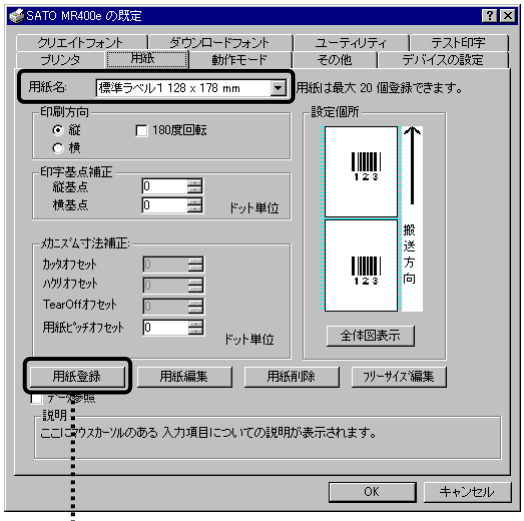
プリンタの設定情報を取得します。
情報を取得する場合、プリンタの電源を入れた状態で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
プリンタドライバをインストールしたあとは、必ず「デバイス」タブの「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

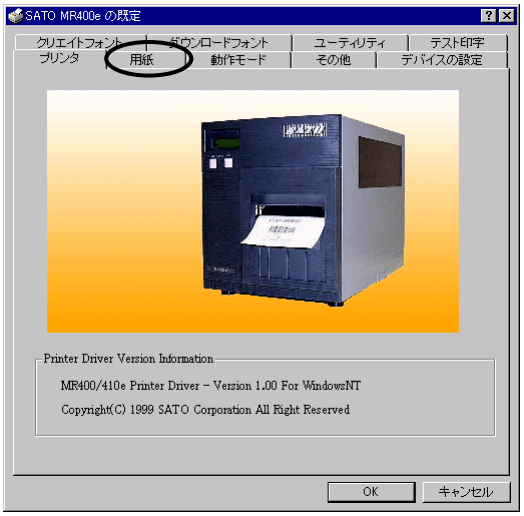
②プリンタの電源を入れてください。

③「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
プリンタ本体で指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」の欄に表示します。
プリンタ設定のリストボックスにて、プリンタ動作を選択し設定できます。

③ 用紙を選びます

①「用紙」タブを選択してください。





②「用紙名」の ▼ をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選択してください。

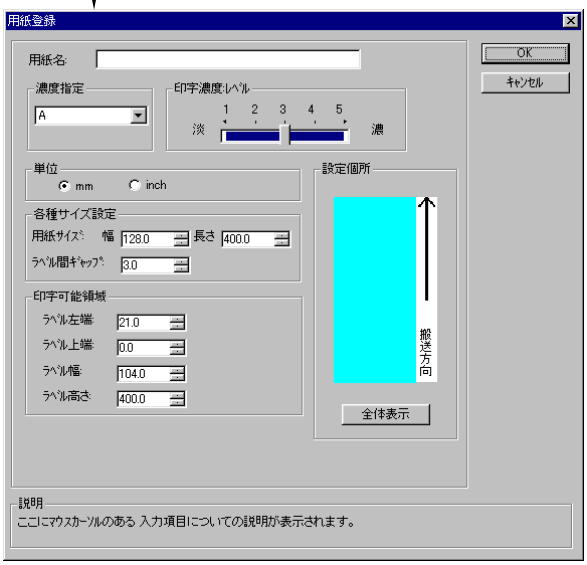
「用紙名」には数種類の標準ラベルがあらかじめ登録されています。

＜MR400e/410e、MT400e/410e、M-4800RVe、M-48Pro＞
- 標準ラベル 1　128×178(mm)
- 標準ラベル 2　128×400(mm)

＜MR600e＞
- 標準ラベル 1　180×239(mm)
- 標準ラベル 2　180×400(mm)

＜MR610e＞
- 標準ラベル 1　180×181(mm)
- 標準ラベル 2　180×400(mm)

＜MT/MR110w＞
- 標準ラベル 1　266×300(mm)
- 標準ラベル 2　258×50(mm)
- JAMA (L)　276×105(mm)
- JAMA (M)　276×85(mm)
- JAMA (S)　276×70(mm)



※標準ラベル以外の用紙を使用するときは

用紙登録 をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「WindowsNT4.0 プリンタドライバ説明書」の「3. 用紙」を参照してください。

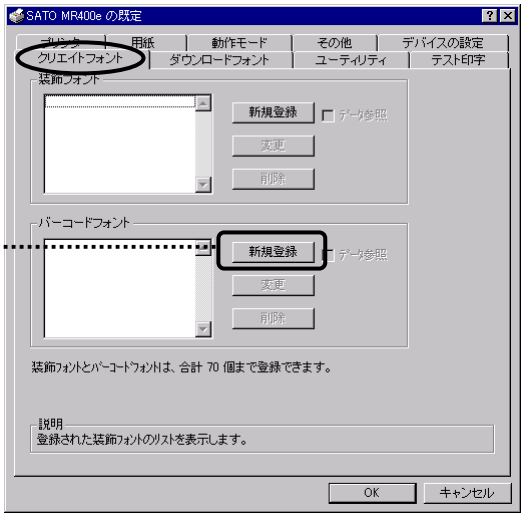
ヒント

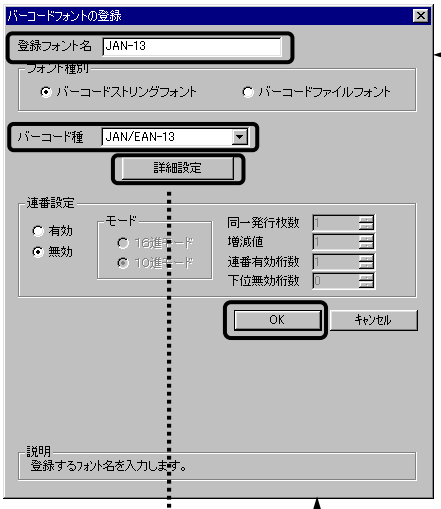
ここで選択した用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。
アプリケーションソフトによっては、あらためてアプリケーションソフトの用紙選択機能において用紙を選択する必要があるものもあります。アプリケーションソフトの用紙選択機能に関しては、アプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

④ バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

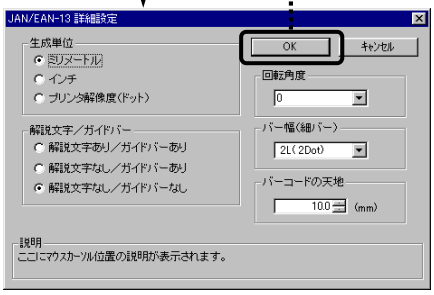
①「クリエイトフォント」タブを選択し、「バーコードフォント」グループの「新規登録」ボタンをクリックしてください。





②「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。

③「バーコード種」の ▼ をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。



④選択したバーコード種に対応する設定ダイアログが表示されます。

※ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定を行っています。

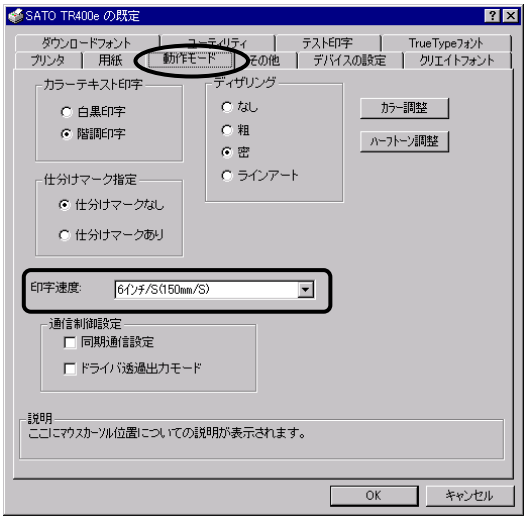
⑤設定が終了したら「OK」をクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」をクリックしてください。

以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能となります。

⑤ プリンタ動作を設定します

①「動作モード」タブを選択してください。

②「印字速度」の ▼ をクリックして、表示されるリストから印字速度を選択してください。



⑥ カッタ付プリンタをご使用の場合は

①「その他」タブを選択してください。

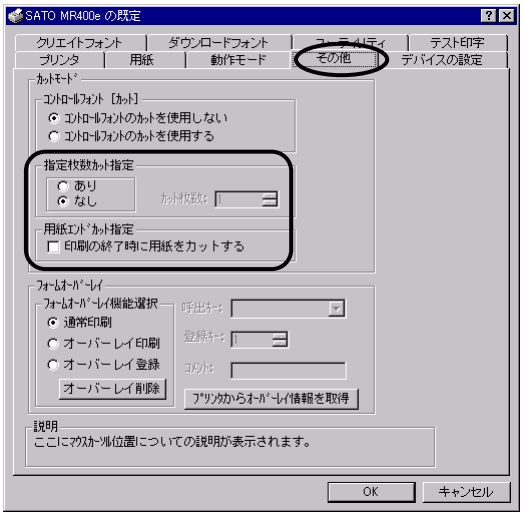
②一定枚数毎にラベルをカットする場合は

「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。

③印刷終了毎にラベルをカットする場合は

「印刷の終了時に用紙をカットする」チェックボックスにチェックを入れてください。

※「その他」シートに関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「WindowsNT4.0 プリンタドライバ説明書」の「5. その他」を参照してください。

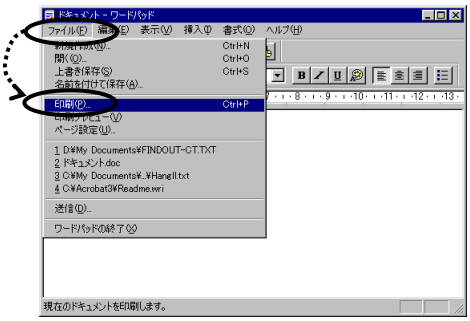


⑦ 設定が終わったら、プリンタドライバの設定シートを閉じます

設定シートの「OK」をクリックしてください。

⑧ ラベル発行を開始します

印刷の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せて参照してください。



ヒント

印刷を実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、ご使用のプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の ▼ をクリックし、表示されるリストから目的のものを選択することで設定できます。

またアプリケーションソフトによっては「③用紙を選びます」で選択した用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらためて用紙を選択する必要があるものもあります。

7．ラベル発行までの流れ（Windows2000/XP）

アプリケーションソフトから作成したレイアウトを印字するときは、最初にプリンタドライバの設定を確認してから行います。

※本書のプリンタドライバのプロパティ画面は、Windows2000 を使用しています。WindowsXP では画面構成が異なる場合がありますが、機能は共通となります。

① プリンタドライバの設定シートを開きます

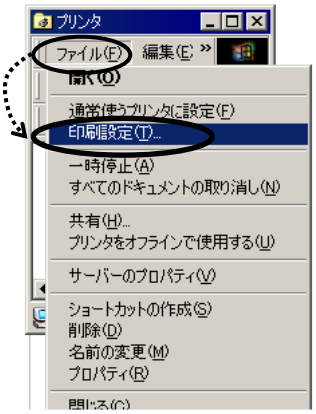
①「プリンタ」フォルダを開き、使用しているプリンタのアイコンをクリックしてください。

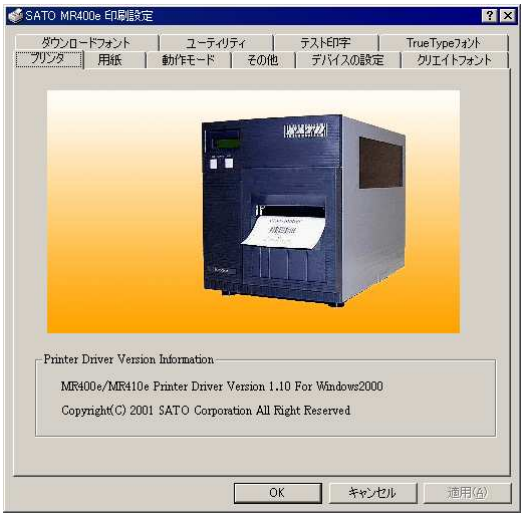
※ここでは例として「MR400e」を選択しています。

ヒント

「プリンタ」フォルダを開く一般的な方法は、スタート をクリックし、「設定(S)」⇒「プリンタ(P)」を選択します。

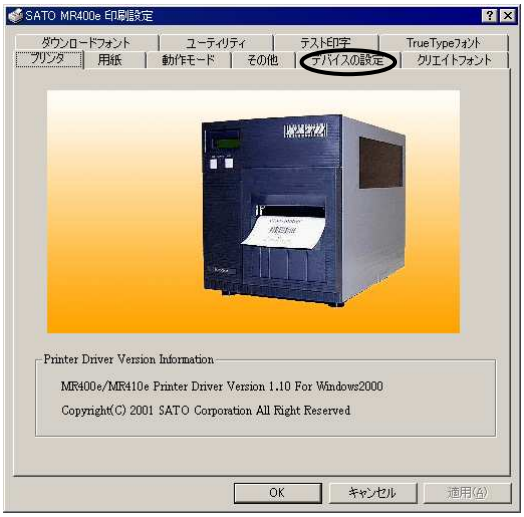
②「ファイル(F)」メニューから「印刷設定(T)」を選択してください。プリンタドライバの設定シートが開きます。

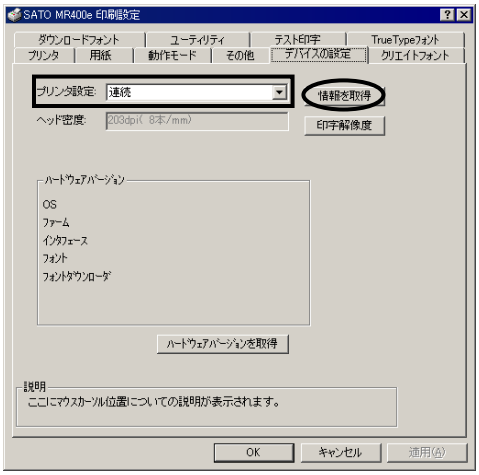




② プリンタの状態を取得します

①「デバイスの設定」タブを選択してください。





ヒント

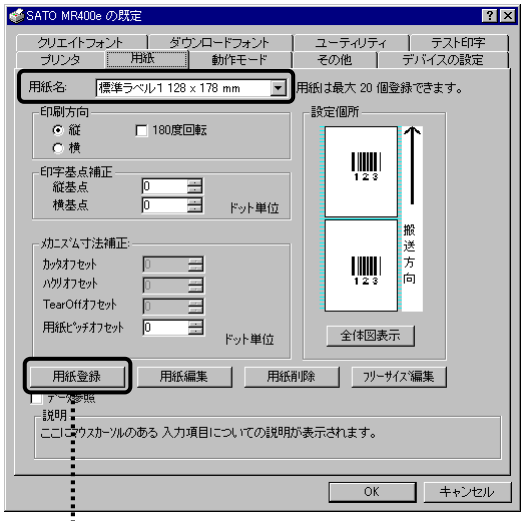
プリンタの設定情報を取得します。
情報を取得する場合、プリンタの電源を入れた状態で「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
プリンタドライバをインストールしたあとは、必ず「デバイス」タブの「情報を取得」ボタンをクリックしてください。

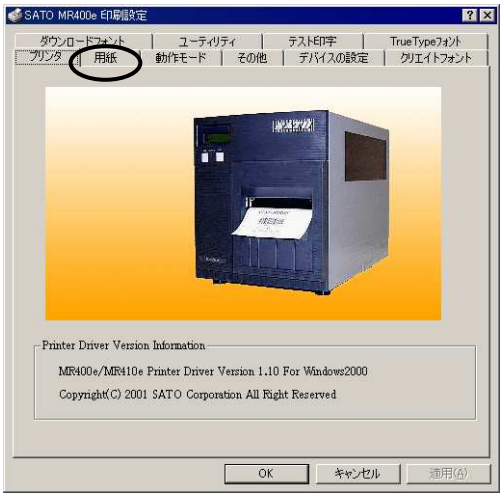
②プリンタの電源を入れてください。

③「情報を取得」ボタンをクリックしてください。
プリンタ本体で指定しているプリンタ情報を取得し、「プリンタ設定」、「ヘッド密度」の欄に表示します。
プリンタ設定のリストボックスにて、プリンタ動作を選択し設定できます。

③ 用紙を選びます

①「用紙」タブを選択してください。





②「用紙名」の ▼ をクリックして、表示されるリストから目的の用紙を選択してください。

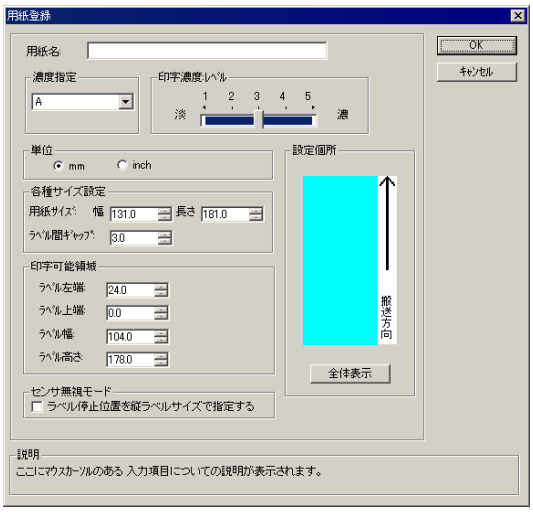
「用紙名」には数種類の標準ラベルがあらかじめ登録されています。

＜MR400e/410e、MT400e/410e、M-4800RVe、M-48Pro＞
- 標準ラベル 1　128×178(mm)
- 標準ラベル 2　128×400(mm)

＜MR600e＞
- 標準ラベル 1　180×239(mm)
- 標準ラベル 2　180×400(mm)

＜MR610e＞
- 標準ラベル 1　180×181(mm)
- 標準ラベル 2　180×400(mm)

＜MT/MR110w＞
- 標準ラベル 1　266×300(mm)
- 標準ラベル 2　258×50(mm)
- JAMA (L)　276×105(mm)
- JAMA (M)　276×85(mm)
- JAMA (S)　276×70(mm)



※標準ラベル以外の用紙を使用するときは

用紙登録 をクリックして新たに用紙を登録します。

「用紙登録」に関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「Windows2000/XP プリンタドライバ説明書」の「3. 用紙」を参照してください。

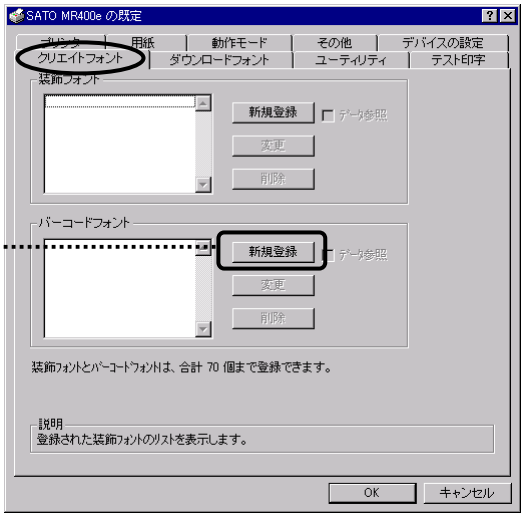
ヒント

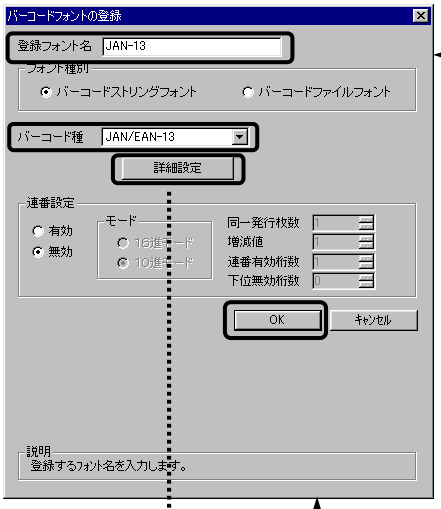
ここで選択した用紙がアプリケーションソフトで通常使用する用紙に設定されます。
アプリケーションソフトによっては、あらためてアプリケーションソフトの用紙選択機能において用紙を選択する必要があるものもあります。アプリケーションソフトの用紙選択機能に関しては、アプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

④ バーコードを印字するには

バーコードを印字するには、まず印字するバーコードの設定を「バーコードフォント」として登録する必要があります。その結果アプリケーションソフトからは、登録したバーコードフォントをフォント種として呼び出すことができます。以下に「バーコードフォント」の登録手順を示します。

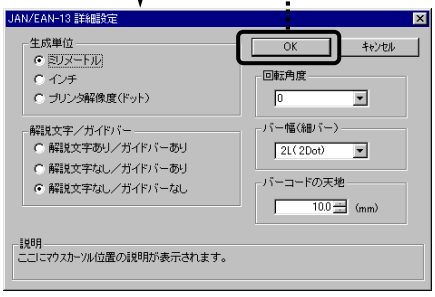
①「クリエイトフォント」タブを選択し、「バーコードフォント」グループの「新規登録」ボタンをクリックしてください。





②「登録フォント名」に、登録するバーコードフォントの名称を入力してください。

③「バーコード種」の ▼ をクリックして、表示されるリストから、登録するバーコード種を選択し、「詳細設定」ボタンをクリックしてください。



④選択したバーコード種に対応する設定ダイアログが表示されます。

※ここでは例として「JAN/EAN-13」の設定を行っています。

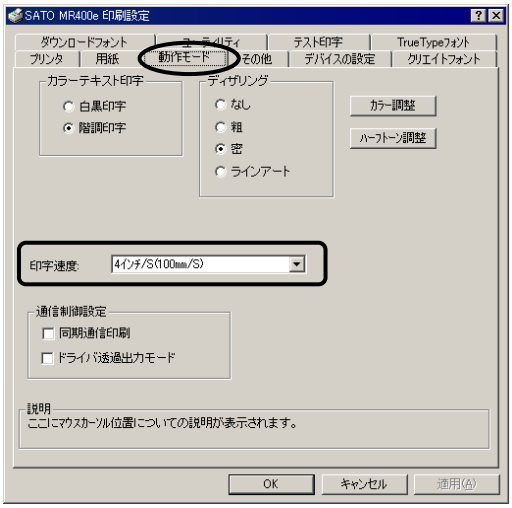
⑤設定が終了したら「OK」をクリックしてください。ひとつ前のダイアログに戻りますので、もう一度「OK」をクリックしてください。

以上の手順でバーコードフォントを登録することにより、アプリケーションソフトからバーコードを印字することが可能となります。

⑤ プリンタ動作を設定します

①「動作モード」タブを選択してください。

②「印字速度」の ▼ をクリックして、表示されるリストから印字速度を選択してください。



⑥ カッタ付プリンタをご使用の場合は

①「その他」タブを選択してください。

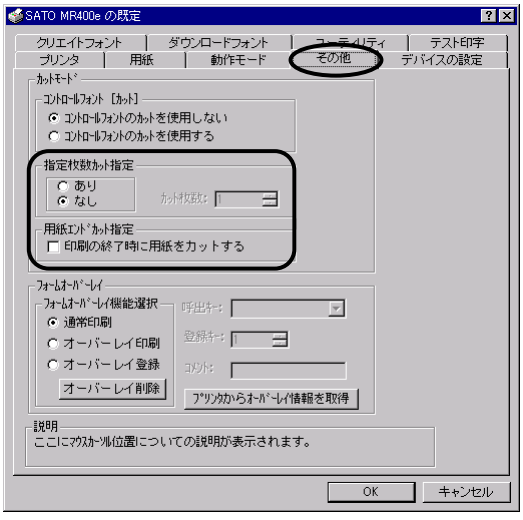
②一定枚数毎にラベルをカットする場合は

「指定枚数カット指定」を「あり」にして、「カット枚数」を設定してください。

③印刷終了毎にラベルをカットする場合は

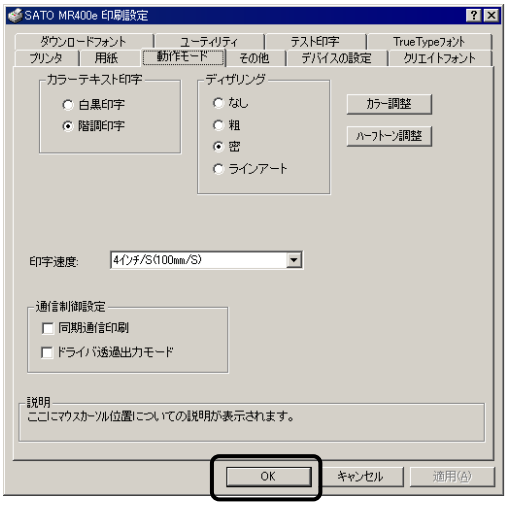
「印刷の終了時に用紙をカットする」チェックボックスにチェックを入れてください。

※「その他」シートに関する詳細は、アクセサリ CD-ROM に収められている「Windows2000/XP プリンタドライバ説明書」の「5. その他」を参照してください。



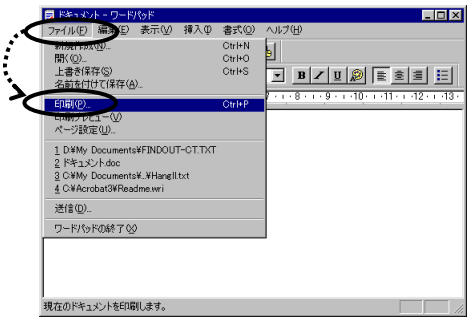
⑦ 設定が終わったら、プリンタドライバの設定シートを閉じます

設定シートの「OK」をクリックしてください。



⑧ ラベル発行を開始します

印刷の開始方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログの「OK」ボタンをクリックすることで実行されます。ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書も併せて参照してください。



ヒント

印刷を実行する前に、アプリケーションソフトが使用するプリンタドライバが、ご使用のプリンタにあったドライバに設定されているか確認してください。

ドライバの設定方法はアプリケーションソフトによって多少異なりますが、一般的には、「ファイル(F)」メニューから「印刷(P)」を選択したときに表示されるダイアログ中にある「プリンタ名(N)」の ▼ をクリックし、表示されるリストから目的のものを選択することで設定できます。

またアプリケーションソフトによっては「③用紙を選びます」で選択した用紙を使用するために、アプリケーションソフトの用紙選択機能において、あらためて用紙を選択する必要があるものもあります。

8．プリンタドライバのアンインストール方法

プリンタドライバをアンインストールする手順を説明します。
（Windows95/98/Me　WindowsNT4.0　Windows2000/XP）

お願い
アンインストール作業を始める前に、使用中のアプリケーションは、全て終了してください。

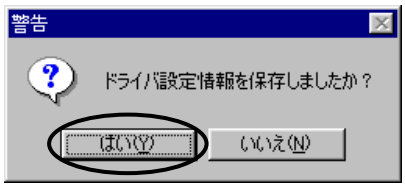
① **プリンタの電源がオフになっていることを確認してください。**
② **「アクセサリ CD-ROM」を CD-ROM ドライブにセットします。**
③ **「メインメニュー」画面より、「スキャントロニクス　プリンタ」をクリックします。**
④ **「スキャントロニクスシリーズ　プリンタ」画面より、「プリンタドライバ」をクリックします。**
⑤ **「プリンタドライバ」画面より、アンインストールするプリンタを選択します。**
⑥ **「アンインストール」をクリックします。**

メインメニュー

スキャントロニクスシリーズ　プリンタ

プリンタドライバ

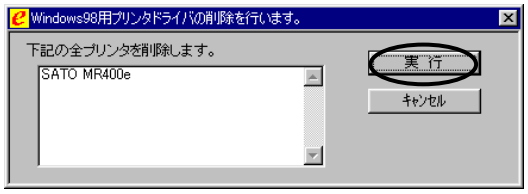
⑦ ユーティリティでドライバプロパティを保存している場合は、「はい」をクリックします。



ヒント

アンインストールを実施すると「用紙」「クリエイトフォント」などの指定した項目が削除されますので、ドライバの「ユーティリティ」にてファイル保存を行ってください。
保存方法は、P. 51 を参照してください。

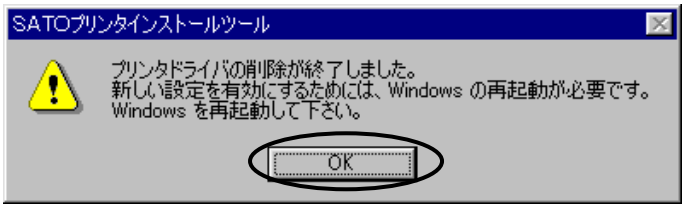
⑧ 表示されているプリンタドライバをアンインストール（削除）します。
「実行」をクリックします。



ヒント

アンインストールを実施すると、プリンタドライバをインストールしたときにインストールした、「SATO ポート」、「ステータス監視モニタ」、「プリンタ設定ツール」も削除します。

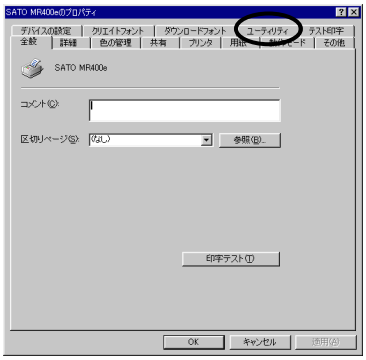
⑨ 「OK」をクリックします。
以上でプリンタドライバのアンインストールは完了です。
Windows を再起動してください。



9．ファイル保存方法

Windows95/98/Me のファイル保存方法について説明します。

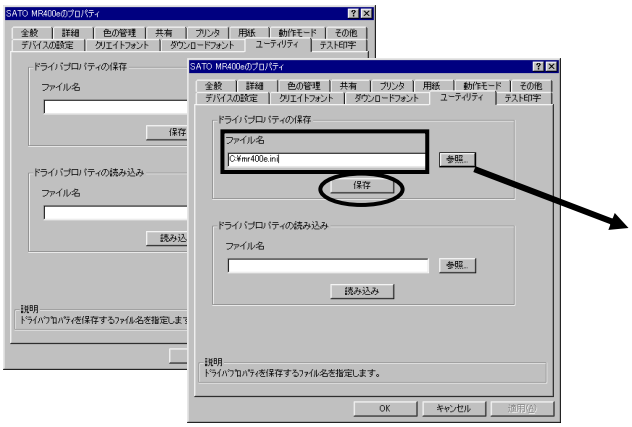
① プリンタドライバの「プロパティ」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。



ヒント

プリンタドライバのプロパティを開く方法は、P.31 を参照してください。

② ファイル名を入力します。



ヒント

「参照」をクリックすると、任意の場所にファイルを保存することができます。

ヒント

保存するファイルは、必ず拡張子「ini」を付加してください。

③ ファイル名を入力し「保存」をクリックします。

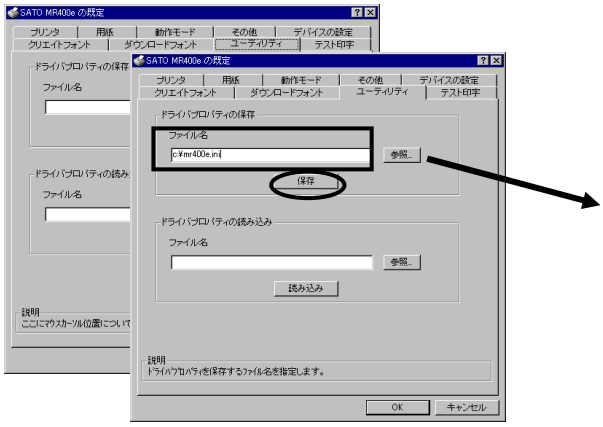
「データを保存しました。」の表示後、「OK」をクリックします。

WindowsNT4.0 のファイル保存方法について説明します。

① プリンタドライバの「ドキュメントの既定値」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。

ヒント
ドキュメントの既定値を開く方法は、P. 37 を参照してください。

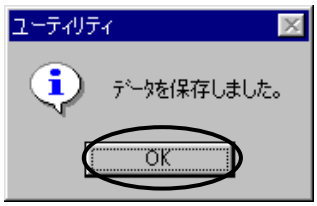
② ファイル名を入力します。



ヒント
「参照」をクリックすると、任意の場所にファイルを保存することができます。

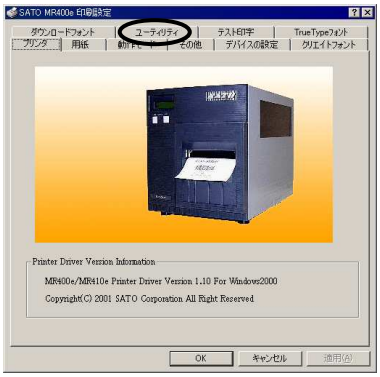
ヒント
保存するファイルは、必ず拡張子「ini」を付加してください。

③ ファイル名を入力し「保存」をクリックします。
「データを保存しました。」の表示後、「OK」をクリックします。



Windows2000/XP のファイル保存方法について説明します。

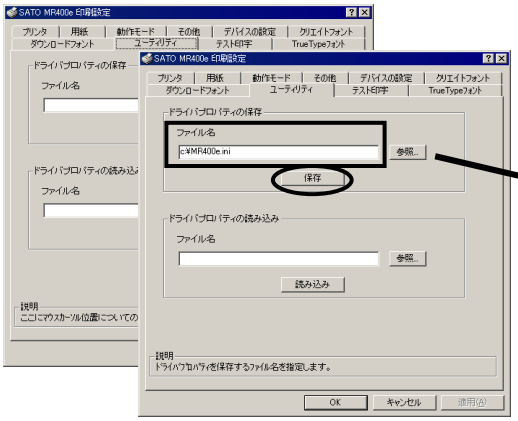
① プリンタドライバの「印刷設定」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。



ヒント

印刷設定を開く方法は、P. 43 を参照してください。

② ファイル名を入力します。



ヒント

「参照」をクリックすると、任意の場所にファイルを保存することができます。

ヒント

保存するファイルは、必ず拡張子「ini」を付加してください。

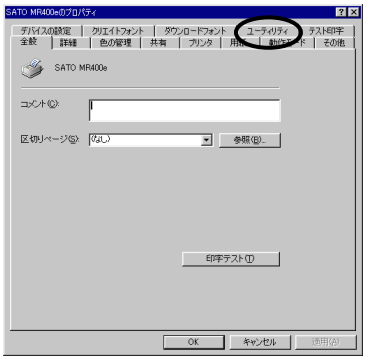
③ ファイル名を入力し「保存」をクリックします。

「データを保存しました。」の表示後、「OK」をクリックします。

１０．ファイル読込み方法

Windows95/98/Me のファイル読込み方法について説明します。

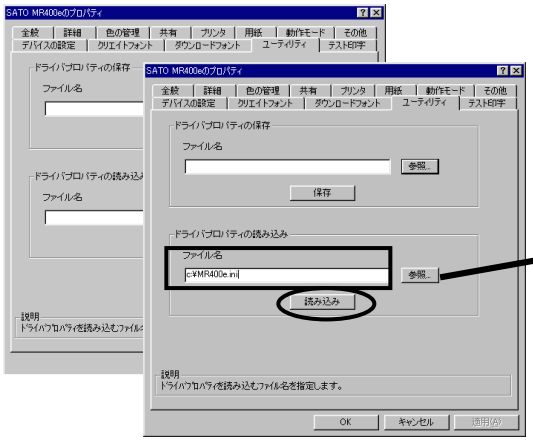
① プリンタドライバの「プロパティ」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。



ヒント

プリンタドライバのプロパティを開く方法は、P. 31 を参照してください。

② ファイル名を入力します。



ヒント

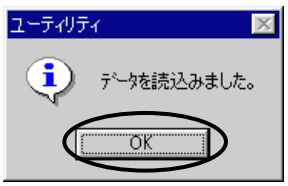
「参照」をクリックすると、任意の場所に保存してあるファイルを読み込むことができます。

ヒント

ファイルを読み込む場合は、必ず拡張子「ini」を付加してください。

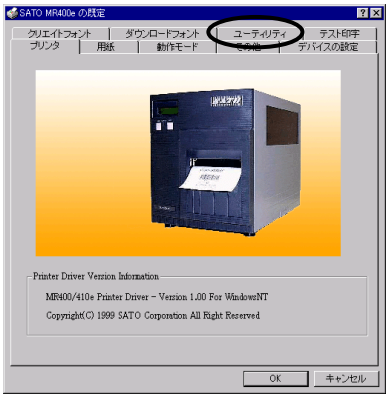
③ ファイル名を入力し「読み込み」をクリックします。

「データを読込みました。」の表示後、「OK」をクリックします。



WindowsNT4.0 のファイル読込み方法について説明します。

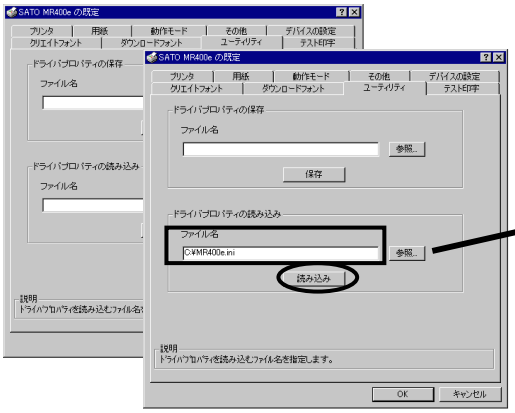
① プリンタドライバの「ドキュメントの既定値」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。



ヒント

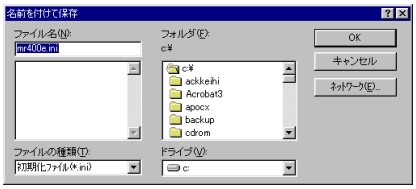
ドキュメントの既定値を開く方法は P. 37 を参照してください。

② ファイル名を入力します。



ヒント

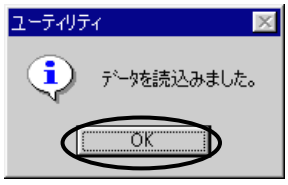
「参照」をクリックすると、任意の場所に保存してあるファイルを読み込むことができます。



ヒント

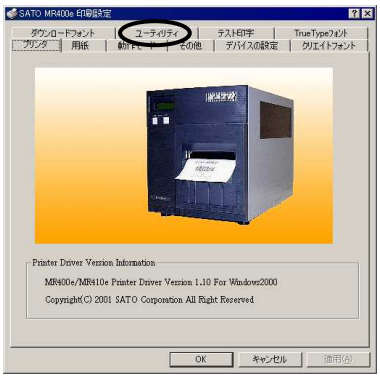
ファイルを読み込む場合は、必ず拡張子「ini」を付加してください。

③ ファイル名を入力し「読み込み」をクリックします。
「データを読込みました。」の表示後、「OK」をクリックします。



Windows2000/XP のファイル読込み方法について説明します。

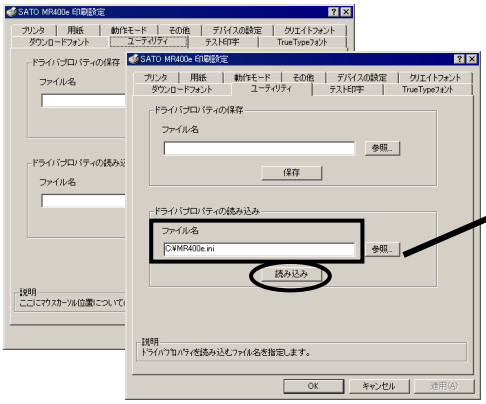
① プリンタドライバの「印刷設定」を開き、「ユーティリティ」をクリックします。



ヒント

印刷設定を開く方法は P. 43 を参照してください。

② ファイル名を入力します。



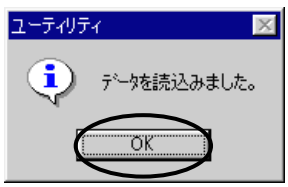
ヒント

「参照」をクリックすると、任意の場所に保存してあるファイルを読み込むことができます。

ヒント

ファイルを読み込む場合は、必ず拡張子「ini」を付加してください。

③ ファイル名を入力し「読み込み」をクリックします。
「データを読込みました。」の表示後、「OK」をクリックします。

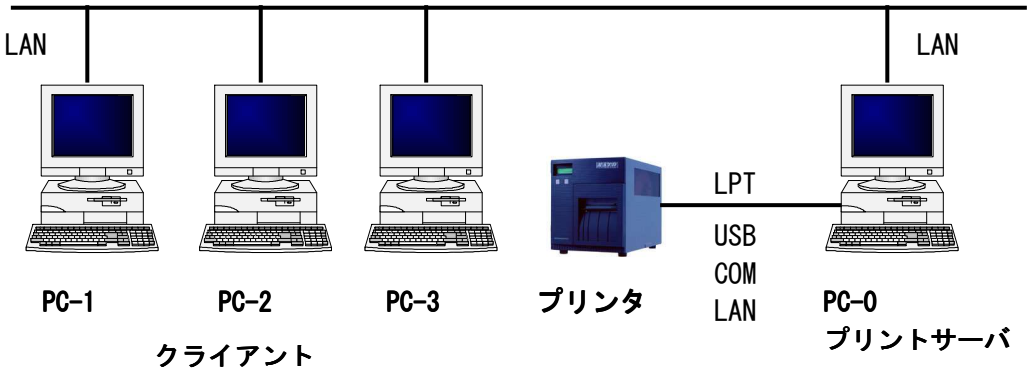


１１．プリンタドライバ共有機能

プリンタドライバを共有設定で使用する場合のセットアップ手順について説明します。

１．接続形態

接続は、下図に示しますように、１台の PC（PC-0）をプリントサーバにし、他の PC（PC-1、PC-2、PC-3、･･･）はクライアントとします。また、全ての PC は LAN 接続されており、プリントサーバとプリンタは LPT（もしくは COM、USB、LAN）で接続します。



２．プリンタドライバの設定方法

①プリントサーバ、クライアントともにアクセサリ CD-ROM より、プリンタドライバをインストールします。

注意１ 「プリンタ」フォルダの「プリンタ追加」アイコンにて追加した場合、必要なファイルがインストールされず正常動作しない恐れがあります。（ネットワークコンピュータ上の共有プリンタアイコンのコピーも同じです。）

注意２ クライアントにプリンタドライバをインストールする場合、SATO ポートではなくローカルポート（LPT、COM）を指定してください。

注意３ プリントサーバにプリンタドライバをインストールする場合は、SATO ポートを指定してください。

②プリントサーバのプリンタドライバから正常にラベル発行ができることを確認後、プリンタドライバを「共有」に設定してください。

③クライアントのプリンタドライバの出力先ポートを、サーバで設定した共有プリンタを指定します。

環　境	設定方法
WindowsNT4.0 Windows2000 WindowsXP	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「ポートの追加」→「Local Port」にてポートの追加を行います。 ポート名に「¥¥共有 PC 名¥共有プリンタ名」を指定します。
Windows95 Windows98 WindowsMe	ドライバ→「プロパティ」→「詳細」→「ポートの追加」→「ネットワーク」→「参照」にて共有 PC と共有プリンタの選択を行います。

④クライアント側のプリンタドライバの双方向通信を OFF にします。

環　境	設定方法
WindowsNT4.0 Windows2000 WindowsXP	ドライバ→「プロパティ」→「ポート」→「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずします。 **注意** 出力先が SATO ポート（SATO LPT、SATO COM、SATO LAN、SATO USB）を指定していた場合、本操作を行うとプロパティ情報（クリエイトフォントや用紙情報等）が初期化される恐れがあります。 出力先が SATO ポート以外であることを確認して本操作を行ってください。 SATO ポートが選択されていた場合は、一度ローカルポート（LPT、COM）を選択し、OK ボタンでポートの変更後に、本操作を行ってください。
Windows95 Windows98 WindowsMe	ドライバ→「プロパティ」→「詳細」→「スプールの設定」で「このプリンタの双方向通信をサポートしない」を選択します。 （選択不可になっている場合は、この操作は必要ありません。）

3．制限事項

クライアントでは、「双方向通信」を無効設定にしているため、下記の制限事項が生じます。

①プリンタで発生した「用紙切れ」、「リボン切れ」などの各種エラーを認識することができません。
②「その他」タブの「プリンタからオーバレイ情報を取得」は使用できません。
それに伴い「フォームオーバレイ印刷」も使用できません。
③「デバイスの設定」タブの「情報を取得」と「ハードウェアバージョンを取得」は使用できません。
④「動作モード」タブの「動作モード」指定、および「用紙」タブの「メカニズム補正ー各種オフセット」指定が制限されます。
⑤ステータス監視モニタは使用できません。
⑥ダウンロードツールは使用できません。それに伴い、ダウンロードフォント・ロゴも使用できません。
⑦プリンタ設定ツールは使用できません。

１２．Ｑ＆Ａ

Q1「プリンタドライバがインストールできない」

チェック　アクセサリCD－ROMに異常はありませんか？

エクスプローラでCD－ROMが読めるか確認してください。

チェック　複数のアプリケーションソフトを起動していませんか？

他のアプリケーションソフトを終了させてからもう一度インストールしてください。

チェック　Windowsは、安定していますか？

エラーが発生してプログラムが強制終了された後などは、Windowsが不安定な状態のため、インストールできないことがあります。Windowsを再起動して再度インストールを行ってください。

Q2「アプリケーションエラー」「一般保護違反」

チェック　Windows3.1 用のアプリケーションソフトを使用されていませんか？

Windows3.1 用のアプリケーションソフトをWindows95/98 上で使って印字すると正しく動作せず、エラーになることがあります。Windows95/98 用のアプリケーションソフトをお使いください。

チェック　次のメッセージが表示されていませんか？

「メモリ不足のため、正常に印刷することができませんでした。」

ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、アプリケーションソフトに必要なメモリが確保されているか確認してください。

複数のアプリケーションソフトを起動していると、印刷のためのメモリが確保されず、正しく印刷されないことがあります。他のアプリケーションソフトを終了させてから、もう一度印刷を実行してください。

「メモリ不足のため、バックグラウンド印刷ができませんでした。」

「ディスク容量が不足しているため、正常に印刷できませんでした。」

不必要なファイルを削除してハードディスク容量をあけてください。

チェック　印字データに異常がありませんか？

印字データを再確認してください。設定内容を再確認してください。

別の印字データで印刷を確認してください。設定内容を再確認してください。

チェック　プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。一旦、削除（アンインストール）して、再度インストールを行ってください。

Q3「XXXXX LPT（USB, LAN, COM）書き込みエラー　XXXXX（SATO MR400e）」

チェック　プリンタは、起動していますか？プリンタにケーブルは接続されていますか？

ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

チェック　スプーラは、正常に動作していますか？

スプーラが正常に動作していない場合が考えられます。スプールをやめてプリンタに直接データを送るようにしてください。（プリンタプロパティの「スプールの設定(L)」で指定することができます。）

チェック　プリンタポートは、正常に動作していますか？

プリンタポートが正常に動作していない可能性があります。プリンタポートの状態を確認してください。

チェック　プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。一旦、削除（アンインストール）して、再度インストールを行ってください。

１３．アクセサリＣＤ－ＲＯＭ

添付品の「アクセサリＣＤ－ＲＯＭ」には、以下の項目を提供しています。

1．プリンタドライバ（インストール/アンインストール）

OS	プリンタドライバ対応機種	
・Windows95 版 ・Windows98 版 ・WindowsMe 版 ・WindowsNT4.0 版 ・Windows2000 版 ・WindowsXP 版	・MR400e/410e ・M-4800RVe ・MR600e/610e ・MT/MR110w ・MT400e/410e ・M-48Pro	スキャントロニクスシリーズ プリンタ
	・TR400e/410e	SATOCeシリーズ プリンタ
	・ﾚｽﾌﾟﾘｼﾘｰｽﾞ	レスプリシリーズ プリンタ

2．ユーティリティ

MR400e/410e プリンタ設定ツール M-4800RVe プリンタ設定ツール MR600e/610e プリンタ設定ツール MT/MR110w プリンタ設定ツール MT400e/410e プリンタ設定ツール M-48Pro プリンタ設定ツール	スキャントロニクスシリーズ プリンタ
TR400e/410e プリンタ設定ツール	SATOCeシリーズ プリンタ
レスプリプリンタ設定ツール	レスプリシリーズ プリンタ
ラパン・プチラパン設定ツール	ラパンシリーズ プリンタ
ネットワークユーティリティ フォント作成ツール ロゴ作成ツール ダウンロードツール バーコードOLEサーバ	スキャントロニクスシリーズ プリンタ SATOCeシリーズ プリンタ レスプリシリーズ プリンタ

3．マニュアル（PDF）

使用許諾書	全機種共通
SBPLプログラミングガイド フォント作成ツール説明書 ロゴ作成ツール説明書 ダウンロードツール説明書 バーコードOLEサーバ説明書 ネットワークユーティリティ説明書 プリンタステータス監視モニタ説明書 Windows95/98/Me プリンタドライバ説明書 WindowsNT4.0 プリンタドライバ説明書 Windows2000/XP プリンタドライバ説明書 プリンタドライバアンインストール説明書	スキャントロニクスシリーズ プリンタ SATOCeシリーズ プリンタ レスプリシリーズ プリンタ
ラパン・プチラパンプログラミングガイド ラパン・プチラパン設定ツール説明書	ラパンシリーズ プリンタ

4．AcrobatReader のインストール 全機種共通

5．TCセンターの説明 全機種共通

6．サービスセンターの説明 全機種共通

7．ホームページ 全機種共通

CD－ROMを、CDドライブにセットすると、「メインメニュー」が表示されます。

「メインメニュー」から「スキャントロニクス　プリンタ」をクリックすると、「スキャントロニクスシリーズ　プリンタ」に移行します。

「メインメニュー」から「サポート・サービス」をクリックすると、「サポート・サービス」に移行します。

※画面が表示されないときは、エクスプローラで CD-ROM の「STARTUP.EXE」をクリックしてください。「メインメニュー」が表示されます。

スキャントロニクスシリーズ　プリンタから各項目をクリックすると各画面に移行します。

メインメニュー

スキャントロニクスシリーズ　プリンタ

プリンタドライバ

マニュアル

ユーティリティ

マニュアルを閲覧する前に必ず、AcrobatReader をインストールしてください。

１４．ご注意

●ご注意
本CD－ROMを音楽プレイヤーで再生しないでください。スピーカを破損したり、耳を傷つける恐れがあります。
製品を安全にご使用いただくために、「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
フォント、ロゴデータについては、お客様にてマスタデータの管理をお願いします。
いかなる時もプリンタ本体に登録されているデータは保証いたしません。

●使用許諾について
本ソフトウェアをご使用いただく上で、はじめにCD－ROMの中にある使用許諾書をご確認ください。

●動作環境について（本CD－ROMをお使いになるパソコンは以下のスペックを推奨します。）
◆Pentium133MHz以上◆メモリ 32MB以上◆4倍速以上の CD-ROM ドライブ
◆画面の表示色 32,000［High Color（16 ビット）］以上の表示

●Windows は、米国マイクロソフト社の登録商標です。

●他の製品名は、各社の商標または登録商標です。